

TOUR DE HOKKAIDO 2023



9.8 FRI ➔ 9.10 SUN

総走行距離
532km

第1ステージ(ロードレース)
[174km] 9/8(金)

旭川市～新得町

第2ステージ(ロードレース)
[183km] 9/9(土)

帯広市～置戸町

第3ステージ(ロードレース)
[175km] 9/10(日)

北見市～当麻町



- ◆主催/公益財団法人ツール・ド・北海道協会 ◆競技主管/公益財団法人日本自転車競技連盟
- ◆後援/国土交通省、スポーツ庁、経済産業省、北海道、北海道市長会、北海道町村会、公益財団法人JKA、公益財団法人日本スポーツ協会、公益財団法人日本オリンピック委員会、一般財団法人日本自転車普及協会、一般社団法人自転車協会、NHK札幌放送局、北海道テレビ放送株式会社、北海道経済連合会、一般社団法人北海道商工会連合会、公益社団法人北海道観光振興機構、一般社団法人北海道建設業協会、一般社団法人北海道建設業協会、一般社団法人日本道路建設業協会北海道支部、北海道アスファルト合材協会、一般社団法人北海道バス協会、公益社団法人北海道トラック協会
- ◆特別協力/北海道新聞社
- ◆協力/北海道開発局、北海道経済産業局、旭川市、帯広市、北見市、富良野市、東神楽町、当麻町、比布町、愛別町、上川町、東川町、美瑛町、上富良野町、中富良野町、南富良野町、訓子府町、置戸町、遠軽町、音更町、士幌町、上士幌町、新得町、公益財団法人北海道スポーツ協会、一般財団法人北海道交通安全協会、北海道自転車競技連盟、北海道自転車軽自動車商業協同組合、北海道サイクリング協会、特定非営利活動法人北海道歩くスキー協会
- ◆お問い合わせ/公益財団法人ツール・ド・北海道協会

TEL.011-222-5922 <https://www.tour-de-hokkaido.or.jp>



ツール・ド・北海道 2023

この道の先に
NIPPO

ROYCE'

SUBARU



競輪の補助事業

この大会は、競輪の補助を受けて実施します。
<https://www.jka-cycle.jp>



もっと速く、さらに遠くへ

身を切るような風、照りつける太陽。時には嘲るかのように降りしきる雨。
敵は競争相手だけではない。最大の敵はおのれ自身。
それにうち勝つ者だけが、ゴールの向こうにあるものを手にすることができる。

2023シーズンは、トップカテゴリーであるUCIワールドチーム「EFエデュケーション・イージーポスト」と、UCIコンチネンタルチームの「EFエデュケーション・NIPPOディベロップメントチーム」のダブル体制で世界ランキングへの挑戦を続けます。

NIPPO は戦うアスリートたちを応援します。



公益財団法人
ツール・ド・北海道協会会長
橋本 聖子

Tour de Hokkaido Association
President
HASHIMOTO Seiko

ツール・ド・北海道大会は、1987年に日本初のステージレースとして開催されてから、回を重ね今年で37回目を迎えます。この間、多くの方のご理解とご支援のもと、国際大会として定着してきており、我が国を代表するサイクルロードレースとして発展してまいりました。

本年のツール・ド・北海道2023は、道北・道東地域を舞台に、外国5チーム、国内15チームの計20チームを招請し3日間のロードレースで構成して開催する運びになりました。

今年の大会は、大雪山系の麓を一周するアップダウンの厳しい山岳レースとなります。

初日は、旭川市総合防災センター駐車場特設会場において開会式を行った後、第1ステージのロードレースを旭川市からスタートし、十勝岳など2箇所のKOM（山岳ポイント）を駆け抜け新得町十勝サホロリゾートでフィニッシュします。2日目の第2ステージは帯広競馬場をスタートした後、大雪山国立公園内の1,000m超の三國峠及び石北峠を走破し、置戸町イベント広場前でフィニッシュします。3日目の第3ステージは北見市民スケートリンク前をスタートし、今大会最後の峠となる北見峠を越え、当麻町スポーツセンター前でのフィニッシュとなります。

選手の皆さんには、雄大な大雪山系の自然の中で、総走行距離532キロメートルに及びレースが白熱した展開になることを心から期待します。加えて、本大会がサイクリススポーツの振興、国民の健康増進、国際交流の促進、そして北海道の地域活性化に大きく寄与するものと確信する次第です。

結びに、本大会の開催に当たり、ご支援・ご協力を賜ります関係各位に心から感謝するとともに参加選手諸君の健闘を祈念いたします。

Tour de Hokkaido, with support from many people, marks thirty seventh edition and has been firmly established as the international event and developed into the cycle road race representing Japan since 1987 held as Japan's first stage race.

Tour de Hokkaido 2023 will take place with twenty teams both from home and abroad. The race consists of three road race over northern and eastern Hokkaido in three days.

This year's course will cover the tough mountainous route around the bottom of Mt. Daisetsuzan range.

On the first day, after the opening ceremony at Asahikawa Disaster Prevention Center, Stage 1, the road race from Asahikawa City to Shintoku Town features two KOM including Mt. Tokachidake.

Stage 2 on the second day, starts from Obihiro Racecourse in Obihiro City. The course includes Mikuni Pass and Sekihoku Pass over 1,000m above sea level, the part of Daisetsuzan National Park, and finishes at Event Square in Oketo Town.

Stage 3 on the third day, starts in front of Kitami Citizen Skating Rink in Kitami City featuring Kitami Pass and finishes at Tohma Sports Center in Tohma Town.

I hope that the magnificent nature of Mt. Daisetsuzan range will help exciting race development for all the participants. Furthermore, I am convinced that this competition will contribute significantly to the promotion of public health, international exchange and revitalization of socioeconomic activities in Hokkaido.

In closing, I would also like to express my sincerest appreciation and respect to the government ministries and agencies, local governments, organizations and those who concerned for continued support and cooperation in holding this competition, and I wish all participants good luck.



北海道知事
鈴木 直道

Governor of Hokkaido
SUZUKI Naomichi

ツール・ド・北海道2023が、道北・道東の雄大な自然を舞台に盛大に開催されますこととお喜び申し上げますとともに、国内外から参加されます選手並びに関係の皆様のご来道をお心から歓迎申し上げます。

今年で37回目の開催を迎える本大会は、3日間で500キロメートルを超える距離を走破する、日本を代表する国際自転車レースの一つであり、本道における自転車競技の普及・発展や競技レベル向上はもとより、本道スポーツの振興に大きく寄与されています。

選手の皆様におかれましては、本大会に向けて積み重ねてきたトレーニングの成果を存分に発揮され、勝負所での駆け引きや抜群のチームワークで観る方を惹きつけ、レースを大いに盛り上げていただくとともに、北の大地に集った仲間達との交流を深め、この機会に旬の味覚など本道の魅力もご堪能され、記憶に残る素晴らしい大会にさせていただきたいと思っています。

結びに、本大会の開催にご尽力された関係の皆様へ深く敬意を表しますとともに、大会のご成功と選手の皆様のご活躍をお心から祈念し、ごあいさついたします。

It is a great pleasure to have Tour de Hokkaido 2023 held over northern and eastern Hokkaido. I would like to extend all of the participating athletes and officials from home and abroad my warmest welcome.

As one of the biggest stage races in Japan, the 37th edition of Tour de Hokkaido covering over 500km in three days, has been significantly contributing to promote the development of cycle race in Hokkaido through the exciting international road races, as well as Hokkaido's sports promotion.

I hope that all the participants will fully demonstrate their skills to show their best performance and attract the spectators with team strategy at the decisive point and team work while getting acquainted to each other and local community to make this event memorable.

In closing, I would like to express my deepest appreciation to those concerned, for their efforts in holding this race, and wish the great success of this competition.

ロイズカカオ&チョコレートタウン

チョコレートを楽しむ学べる体験施設

ROYCE' CACAO CHOCOLATE TOWN



誕生

札幌市に隣接する当別町に、新スポットができました。
 様々な展示や体験を通して、ロイズのカカオ栽培からチョコレートができるまでの「ファーム トゥ バー」の旅をお楽しみいただけます。
 ※入場には施設公式サイトから日時指定チケットの予約・購入が必要です。

1F エントランス (無料エリア)



カカオファームゾーン



ロイズコレクションズストリート



工場体験ゾーン



チョコレートワークショップ



施設公式サイト ▶
 料金案内・予約・チケット購入はこちら



石狩郡当別町ビトエ640-15
 (JRロイズタウン駅から徒歩約7分、無料シャトルバスあり) 予約100台(無料)



Contents

[目次]

ごあいさつ 1 Greetings	チェックポイント 14 Check points	役員名簿 32 Officials
大会賞典 3 Prize	キャラバン編成表 15 Motorcade Formation for Tour de Hokkaido 2023	実行委員会名簿 33 Secretaries of Executive Committee of Tour de Hokkaido 2023
大会主催・後援・協力・協賛 5 Organizers・Supporters・Cooperators・Sponsors	第1ステージ 16 Stage 1	賛助会員等名簿 37 Support members
コースレイアウト 6 Course Layout	第2ステージ 22 Stage 2	交通規制のあらまし 39 The outline of the traffic restriction
出場チーム紹介 8 Participating Teams	第3ステージ 26 Stage 3	
レースの基礎知識 12 Spectator's tip for enjoying race	歴代チャンピオン 30 Champions of Tour de Hokkaido	

Prize

[プライズ]



北海道カップ (個人総合時間賞)
制作/伊藤 隆道氏

General Individual Classification
by Time Hokkaido Cup: Produced
by Takamichi Ito

大会最高の栄誉、個人総合時間賞 ポイント・山岳の個人賞と総合力の団体賞

ツール・ド・北海道大会の表彰は、個人総合時間賞、個人総合ポイント賞、個人総合山岳賞、団体総合時間賞及びU26団体総合時間賞の計5つ。なかでも個人総合時間賞は最も評価が高く、個人表彰部門での最高の栄誉とされている。

ステージレースは数日間にわたって各 구간を走り抜き、総走行距離を最も速いタイムで完走した選手を総合優勝とするものである。レースを数日間に分けて行うため、誰が現時点で総合のトップなのかを"リーダージャージ"着用者の義務によって示している。3つのジャージ着用者は、レース期間中は、走行時間、山岳ポイント、あるいはステージポイントにおいて現時点でトップであるということを示しているが、レース終了後の総合表彰式でこれらのジャージを与えられた選手は、各部門において、今大会最も優れた成績をあげたことを意味するのである。



● 個人総合時間賞

個人に授与される「ツール・ド・北海道」最高の賞。大会全レースの個人走破タイムの合計で競われ、優勝者にはチャンピオンジャージとメダルに加え、「北海道カップ」が大会最高の栄誉として授与される。

General Individual Classification by Time

This is the Tour de Hokkaido's highest individual award. The prize is presented based on individual riders' total times for the entire race. The winner will receive a champion's jersey, a medal and the Hokkaido Cup, as the most prestigious prize of the race.



● 個人総合ポイント賞

各ステージのホットスポット、フィニッシュ順位にポイントを設定し、全ステージでのポイント合計の最も高い選手に与えられる栄誉。優勝者にはチャンピオンジャージとカップが授与される。

General Individual Classification by Points

Points will be provided to riders based on Hot Spot and their placings in each stage. This prize is awarded to the individual rider with the highest total points. A champion's jersey and a cup will be presented to the winner.

The most prestigious prize of the race = General Individual Classification by Time Other two Individual Classifications and General Team Classification

The excellent achievements in Tour de Hokkaido will be honored by five prizes: General Individual Classification by Time, General Individual Classification by Points, General Individual Classification of the Best Hill-Climber, General Team Classification and U26 General Team Classification by Time. Among them, the General Individual Classification by Time is regarded as the highest honor given to an individual. In this stage race, the first-prize will be given to the rider who runs through all the stages, covering the total distance in the shortest time. Since the races are held over several days, the rider who leads the tour as of the previous stage must wear the "Leader Jersey" to identify his status. Those wearing the three jerseys show they are the tops in each classification, and those who are given such jerseys at the (Overall)Awards Ceremony on the last day are the riders with the greatest achievements in the Tour de Hokkaido.



● 個人総合山岳賞

山岳のスペシャリストに贈られる最高の栄誉。この賞は大会全コースの幾つかの峠や山岳路の頂上付近に設定された山岳ポイントの通過順位得点の合計で競われる。精神力、脚力ともに最も過酷な部門。優勝者にはチャンピオンジャージとカップが授与される。

General Individual Classification of the Best Hill-Climber (King of Mountains)

This is the top prize for hill climbers. The winner will be determined by total points based on the riders' placings when passing hill points established at several mountain passes and near the summits of mountain roads along the course. This award honors strong legs and mental strength. The winner will be presented with a champion's jersey and a cup.



ジブン自在SUV CROSSTREK



いつもの毎日から、一歩踏み出してみる。ただそれだけで、
楽しみがどんどん広がっていく。このクルマがそばにいと、
「やってみよう」が「やってみよう」に変わり、気持ちば走り出している。
好奇心が満たされるたびに、自分をもっともっと好きになっていく。
このクルマには、そんな力がある。クロストレックと繋げる。
新たな世界へ、楽しさへの扉は、いつだって開かれている。



2.0L DOHC 直噴+モーター(e-BOXER) リニアトロニック

アイサイト上層級の安全性能を実現。3つの目を持つ新世代アイサイト標準装備。

Touring	メーカー希望小売価格(消費税10%込)	FWD	2,662,000円	消費税抜き価格 2,420,000円	AWD	2,882,000円	消費税抜き価格 2,620,000円
		Limited	メーカー希望小売価格(消費税10%込)	FWD	3,069,000円	消費税抜き価格 2,790,000円	AWD

PHOTO: Limited(AWD車) オフショアブルー・メタリック(33,000円高・消費税10%込) ルーフレール、サンルーフ、ステアリングヒーター、シートヒーター、ナビゲーション機能はメーカー装着オプション
写真は撮影用に点灯しています。写真はすべてイメージです。撮影用の小物は商品には含まれません。●写真は印刷インクの性質上、実物の色とは異なって見えることがあります。●この仕様はお断りなく
変更する場合があります。●詳細は店頭またはWEBでご確認ください。●記載価格はメーカー希望小売価格に消費税10%が含まれた総額表示です。●メーカー希望小売価格は参考価格です。販売価格は
各販売店が独自に決めていますので、それぞれにお問い合わせください。●価格はタイヤ/ランク修理キットを含む価格です。●価格にはオプションは含まれておりません。●リサイクル料金、税金(消費税を除く)、
保険料、登録等に伴う諸費用等は別途必要となります。●登録等に伴う手続き代行費用については別途消費税が必要となります。

[SUBARU お客様センター] SUBARUコール 0120-052215

www.subaru.jp/crosstrek/



安心と愉しさを。SUBARU

主催	Organizers
公益財団法人ツール・ド・北海道協会	Tour de Hokkaido Association
競技主管	Technical supervisor
公益財団法人日本自転車競技連盟	Japan Cycling Federation
後援	Supporters
国土交通省	Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism
スポーツ庁	Japan Sports Agency
経済産業省	Ministry of Economy, Trade and Industry
北海道	Hokkaido Government
北海道市長会	Hokkaido Association of City Mayors
北海道町村会	Hokkaido association of towns and Villages
公益財団法人JKA	JKA
公益財団法人日本スポーツ協会	Japan Sport Association
公益財団法人日本オリンピック委員会	Japanese Olympic Committee
一般財団法人日本自転車普及協会	Bicycling Popularization Association of Japan
一般社団法人自転車協会	Bicycle Association
NHK札幌放送局	Sapporo Station of Broadcasting Corporation (NHK)
北海道テレビ放送株式会社	Hokkaido Television Broadcasting
北海道経済連合会	Hokkaido Economic Federation
一般社団法人北海道商工会議所連合会	The Federation of Hokkaido Chamber of Commerce and Industry
北海道商工会連合会	The Federation of Hokkaido Society of Commerce and Industry
公益社団法人北海道観光振興機構	Hokkaido Tourism Organization
一般社団法人北海道建設業協会	Associated General Constructors of Hokkaido Inc.,
一般社団法人北海道舗装事業協会	Hokkaido Pavement Association
一般社団法人日本道路建設業協会北海道支部	Japan Road Contractors Association Hokkaido branch
北海道アスファルト合材協会	Hokkaido Asphalt Mixture Association
一般社団法人北海道バス協会	Hokkaido Bus Association
公益社団法人北海道トラック協会	Hokkaido Truck Association
特別協力	Special Cooperating Organizaions
北海道新聞社	The Hokkaido Shimbun Press
協力	Cooperators
北海道開発局	Hokkaido Regional Development Bureau
北海道経済産業局	Hokkaido Bureau of Economy, Trade and Industry
旭川市	Asahikawa
帯広市	Obihiro
北見市	Kitami
富良野市	Furano
東神楽町	Higashikagura
当麻町	Tohma
比布町	Pippu
愛別町	Aibetsu
上川町	Kamikawa

東川町	Higashikawa
美瑛町	Biei
上富良野町	Kamifurano
中富良野町	Nakafurano
南富良野町	Minamifurano
訓子府町	Kunneppu
置戸町	Oketo
遠軽町	Engaru
音更町	Otofuke
士幌町	Shihoro
上士幌町	Kamishihoro
新得町	Shintoku
公益財団法人北海道スポーツ協会	Hokkaido Sports Association
一般財団法人北海道交通安全協会	Hokkaido Traffic Safety Association
北海道自転車競技連盟	Hokkaido Cycling Federation
北海道自転車軽自動車商業協同組合	Hokkaido Commercial Cooperative of Bicycles and Light Cars
北海道サイクリング協会	Hokkaido Cycling Association
特定非営利活動法人北海道歩くスキー協会	Hokkaido Cross Country Skiing Association

特別協賛	Special Sponsors
株式会社NIPPO	NIPPO CORPORATION
株式会社ロイズコンフェクト	ROYCE' Confect Co., Ltd.
株式会社SUBARU	SUBARU CORPORATION

協賛各社	Sponsors
株式会社阿部商会	ABE SHOKAI LTD.
井上ゴム工業株式会社	Inoue Rubber Co., Ltd
IKEUCHI GROUP	IKEUCHI GROUP
ウェッジ株式会社	Wedge co. ltd
サッポロビール株式会社	SAPPORO BREWERIES LTD.
株式会社JTB 北海道事業部	JTB Corp. Hokkaido Division
株式会社シマノ・シマノセールス株式会社	SHIMANO INC. and SHIMANO SALES INC.
株式会社パールイズミ	Pearl Izumi, Inc.
北海道ミネラルウォーター株式会社	Hokkaido Mineral Water Co., Ltd.
株式会社マトリックス	MATRIX INC.
マヴィックジャパン株式会社	MAVIC JAPAN Co., LTD.
有限会社ガレージ ビーグル	GARAGE BEAGLE
株式会社DSP	DSP CO., LTD.

岩田地崎建設株式会社	IWATA CHIZAKI INC.
協成建設工業株式会社	KYOSEI CONSTRUCTION INDUSTRY INC.
こぶし建設株式会社	KOBUSHI CONSTRUCTION CO., LTD.
株式会社三共コンサルタント株式会社	SANKYO CONSULTANT CO., LTD.
中定建設工業株式会社	NAKAJO KENSETSU KOGYO CO., LTD
菱中建設株式会社	HISHINAKA Construction CO., LTD.
北土建設株式会社	HOKUDO CONSTRUCTION CO., LTD.

EF エデュケーション – NIPPO ディベロップメントチーム (アメリカ)

EF EDUCATION - NIPPO DEVELOPMENT TEAM
(UNITED STATES OF AMERICA)

UCIワールドチーム「EFエデュケーション・イージーポスト」直下型の育成チームで、欧州を拠点に活動し、所属選手の半数以上がU23カテゴリーの若手選手。日本人選手は、U23の橋川丈、仮屋和駿、留目夕陽、山田拓海、世界での経験が豊富で大きな飛躍が期待される門田祐輔と織田聖の6名が所属。グローバルスタンダードに沿ったチーム運営のもと、世界中から集まった才能豊かなチームメートたちと切磋琢磨し、世界への挑戦を続けています。



As the development team of UCI World Team EF EDUCATION EASYPOST, EF EDUCATION-NIPPO DEVELOPMENT TEAM, has been mainly racing in Europe. More than half of the members are U23 riders. Six Japanese riders (U23 riders: HASHIKAWA Jo, KARIYA Kazutoshi, TODOME Yuhi and YAMADA Takumi, Experienced riders: KADOTA Yusuke and ODA Hijiri) belong to the team. Under the global standard team management, they have been challenging world level with talented teammates from all over the world.

トレンガヌ ポリゴン サイクリングチーム (マレーシア)

TERENGGANU POLYGON CYCLING TEAM
(MALAYSIA)

トレンガヌポリゴンサイクリングチームは、2011年にマレーシアトレンガヌ州政府とPro-Asia sports Managementにより設立。チーム設立以来UCI Asia Tourにおいても常に上位に位置し、UCI Asia Tourでシーズン総合1位、Tour de Langkawiの総合優勝など活躍を続けている。



TERENGGANU POLYGON CYCLING TEAM was established in 2011 by Terengganu State Government and Pro-Asia sports Management. Since the team's establishment, the team has been playing the active part in UCI Asia Tour including becoming number one in overall ranking and winning the overall classification in Le Tour de Langkawi.

セントジョージ コンチネンタル サイクリングチーム (オーストラリア)

ST. GEORGE CONTINENTAL CYCLING TEAM
(AUSTRALIA)

セントジョージコンチネンタルサイクリングチームは、セントジョージサイクリングクラブハイパフォーマンスプログラムの一環として2012年に設立された。以来、近年国際的活躍の出発点として設立されたナショナルロードシリーズへの参戦を通じた育成に注力した結果、2015年にはUCIアジアツアー大会への参戦が現実的となり、さらなる進化で多くの大会へ招待され、2016年にコンチネンタル登録に至った。このコンチネンタル登録により、ますますUCIアジアツアー大会を含む世界規模の活躍が可能となった。我々チームは、現在まで6~8名の選手のワールドツアーレベルへの懸け橋となっている。



St George Continental Cycling Team is an established competitive cycling team that is a part of the St George Cycling Club High Performance Program. Founded in 2012, the team had a primary focus on development through participation in the National Road Series - a series that in recent years has established itself as a dominant launch pad for cyclists internationally. In 2015, following three successive years of development, the opportunity to race as a part of the UCI Asian Continental Circuit became a realistic pathway for continued progression. With an unprecedented amount of individual and team success over this year, combined with pressures from race organizers for us to return to participate in more events on their calendar, the natural progression resulted in a successful Continental License application for 2016. This Continental License has enabled the Team to participate on the UCI Asian Tour since 2016 to the present day enabling our riders' exposure on the world stage. To date our team has been a pathway for 6-8 riders to progress to World Tour Level.

セブンイレブン-CLIQQ AIR21 BY ロードバイク フィリピンズ (フィリピン)

7ELEVEN-CLIQQ AIR21 BY ROADBIKE PHILIPPINES
(PHILIPPINES)

日本でも馴染みのあるセブンイレブンをメインスポンサーとし、アジアを主戦場に戦うフィリピン籍コンチネンタルチームです。4年ぶりの日本でのレース、とても興奮しております!一緒に北海道の大地で堪能しましょう!



With 7 ELEVEN as the main sponsor, 7 ELEVEN-CLIQQ AIR21 BY ROADBIKE PHILIPPINES is a Philippine-based UCI continental team, racing in Asia as the major battlefield. The team is very excited to participated in the race in Japan as it has been 4 years since the last time! Let's enjoy Hokkaido together!

ソウル サイクリングチーム (大韓民国)

SEOUL CYCLING TEAM
(KOREA)

ソウルサイクリングチームは2002年に大韓民国初のUCIコンチネンタルチームとして設立され、首都の象徴でもあります。ツール・ド・北海道に出場できることを非常に光栄に思います。



The Seoul Cycling was made in 2002, and is the first South Korean UCI continental team. This team also represents the capital city of South Korea. We are deeply honored to be part of the Hokkaido Competition.

愛三工業レーシングチーム

AISAN RACING TEAM

愛三工業レーシングチームは、愛知県大府市に本社を置く自動車機能部品システムメーカーの愛三工業株式会社を母体とする自転車ロードレースチーム。2006年から国際自転車競技連盟(UCI)のコンチネンタルチーム登録を行い、国内とアジア各国でレース活動を行っている。チームスローガンは、「世界への挑戦!アジア No.1チームへ!」。



Aisan Racing Team, sponsored by Aisan Industry Co., LTD., has been dedicating to provide the global environment with the riders to focus on UCI Asia Tour since the registration as UCI continental team in 2006. Team slogan is "Challenge to the world and become Asia's number one team".

キナンレーシングチーム

KINAN RACING TEAM

キナンレーシングチームは、和歌山県に本社を構える株式会社キナンをメインスポンサーとし、国内外でのレース活動を主とした自転車ロードレースチームです。地元和歌山県、三重県にまたがる熊野地域で毎年行われるUCI(国際自転車競技連盟)公認の国際ロードレース「Tour de 熊野」での優勝とレースイベントの成長を最大の目標とし、それにより熊野地域への貢献、地域活性、スポーツ振興、自転車文化の発展に尽力していきます。また、国内各地での地域活性を目指した取り組み、ファンとの交流の機会も積極的に設けています。和歌山県古座川町や愛知県春日井市とは連携協定を結び、三重県いなべ市とはSDGs推進パートナーとして、自治体との関係強化も進めています。こうした活動を通じ、プロのロードレースチームが社会の一員として多くの方々に認識してもらえよう努めています。



Kinan Racing Team, sponsored by KINAN Co., LTD, based in Wakayama Pref., is the road racing team for both home and abroad. The team is trying to make contributions to Kumano region, local revitalization, sports promotion and the development of cycling culture by aiming for the victory of UCI-sanctioned race, "Tour de Kumano" held over Kumano region in Wakayama and Mie Prefecture and the development of the race event. The team is also devoting to be recognized through communicating with fans as well as strengthening the relationship with municipalities including Inabe City in Mie Pref., as the SDGs promotion partner.

さいたま那須サンブレイブ

SAITAMA / NASU SUNBLAVE

さいたま那須サンブレイブは、複数地域連携型のプロサイクルロードレースチームです。那須ブラーゼンとさいたまディレーブのレース活動を統合し、2023年に誕生しました。各地域での地域貢献活動を積極的に行い、自転車による各地域の活性化、そして各地域に根差し、愛され、貢献するチームを目指します。未だ数多くの課題を抱えるプロサイクルロードレースチームの新たなモデルとして、地域間のコラボレーションにより、今まで以上に大きな取り組みを行い、安定した強いチームを創ってまいります。



In 2023, SAITAMA NASU BLAVE is founded as the multi-region-based professional road cycling team by integrating NASU BLASEN and SAITAMA DELAVE. The team aims for contributing to each region by cycle-related activities. As a new model for professional cycle road racing teams that still face numerous challenges, the team will work on the bigger projects to stabilize and strengthen the team by cooperation between regions.

シマノレーシング

SHIMANO RACING

1973年のチーム立ち上げ以来、45年の歴史を数える伝統のチーム。過去、多くの日本チャンピオンやオリンピック代表選手を輩出してきた。時代と共に活動を変化させてきたが、より高い場所を目指す姿勢が変わることは無い。近年は『世界トップレベルで活躍する選手育成』という目的を掲げ活動をしている。



SHIMANO RACING, the traditional team established in 1973, has been producing many national champions and olympians over its long history. Although the team activities have been changed time by time, the team keep the same attitude to aiming for higher level with the goal to develop the world-class riders in these years.

チームブリヂストンサイクリング

TEAM BRIDGESTONE CYCLING

1964年の東京オリンピック開催の年に発足し、今年で59年を迎える歴史のあるチーム。過去にはロード、トラック、MTB全ての種目で全日本チャンピオンやオリンピックを輩出し、2018年にはチーム名をチームブリヂストンサイクリングと改名し、より一層オリンピックでの活躍を目指し活動中。



With the long history of producing national champions and olympians in all cycling categories since the establishment in 1964, the team has changed its name into "TEAM BRIDGESTON Cycling" in 2018 and has been working harder to play an active part in Olympic Games.

宇都宮ブリッツェン

UTSUNOMIYA BLITZEN

栃木県宇都宮市を拠点とするUCIコンチネンタルチーム。チームは今年で設立15周年を迎えた。チーム名のブリッツェンとはドイツ語で「稲妻」を意味し、日本で最も雷の多い地域である活動拠点の宇都宮市を表している。今シーズンは選手が大きく入れ替わり、チーム史上初となる外国人選手も所属。チーム一丸となりステージ優勝、総合上位を狙いたい。



Based in Utsunomiya City in Tochigi Pref., UCI continental team, Utsunomiya BLITZEN marks 15th anniversary this year since its foundation. "BLITZEN" is named after the meaning "thunder" in Germany since Utsunomiya is known for its thunder. This season, the team aims for higher ranking in GC with updated roster including the first foreign rider in team's history.

ヴィクトワール広島

VICTOIRE HIROSHIMA

プロ自転車ロードレースチーム「ヴィクトワール広島」は、2015年に中四国初のプロチームとして誕生しました。広島そして中国地方に自転車競技の文化を広げ、ロードレースの面白さを多くの人に届けるべく活動しています。目指すは「広島から日本一へ」。皆様の心を動かすような走りをお見せします。闘志を秘め、一歩ずつ前進していくヴィクトワール広島にご期待ください。



"VICTOIRE HIROSHIMA" was established in 2015 as the first professional road cycling team in the Chugoku-Shikoku region. The team has been working on activities to promote the cycling culture in Chugoku region including Hiroshima as well as provide the fun of road race to as many people as possible. Aiming to "Be No.1 in Japan from Hiroshima", the team will show the performance that will move spectator's heart. Please do look forward to each step forward with fighting spirit.

北海道地域選抜

SELECTED HOKKAIDO

第1回大会から参加している地元北海道チーム。北海道を拠点として活動中の選手から、毎年予選で選考された選手で構成される。選抜チームでの本大会出場が、北海道内選手の目標であり、選手育成に一役を担っている。



SELECTED HOKKAIDO, consisting of local riders survived from qualifying race, have been participating in Tour de Hokkaido since the first edition. To take part in Tour de Hokkaido as the member of this team is the big motivation for riders in Hokkaido while it plays significant role to develop them.

日本大学

NIHON UNIVERSITY

「日本大学競技スポーツ宣言」のもと学業を最優先に朝練習を主体として、不足分を土曜・日曜日の練習でカバーしている。卒業生は、全国で教員・指導者として自転車競技の普及・発展に寄与し、実業団、競輪選手として活躍する者も多く輩出している。



Under "Competitive Sports Declaration", NIHON UNIVERSITY CYCLING CLUB manage to attend classes as priority by moving the main training time to early morning and weekends. The club produces not only the educators and leaders contributing to promote and develop the cycling competition, also many professional riders including business cooperation team and Keirin.

早稲田大学

WASEDA UNIVERSITY

早稲田大学自転車部は1933年創部。U23の日本代表に所属し、海外でのレース経験がある神村、大仲。この2名を中心に総合上位を狙いつつ、各ステージで積極的に展開に加わっていき、チーム総合上位を目指していきたい。



The club was established in 1933. The team will go for the higher ranking in GC with Kamimura and Onaka, U23 national member with experience in international races, while aiming for team general classification by time.

東京大学

THE UNIVERSITY OF TOKYO

1956年創部。チームのほとんどが自転車競技を大学から始めたものの、科学的根拠に基づいた練習により着実に力をつけており、主将の篠崎は全日本学生個人ロードで優勝を成し遂げた。



The club was established in 1956. Although most of the members started cycle racing after entering university, the members have been building up their strength by training based on scientific evidence, which led to the victory of individual road race by team captain, Shinozaki at National College Championship this year.

中央大学

CHUO UNIVERSITY

Jプロツアーを走る選手も多く、学生としての枠をこえて活動できるチーム。ステージレースを走る機会は貴重なためこの機会を頂いたことに感謝をしつつ、3日間ハイレベルな展開に喰らいつき、1人1人が何かしらの学びを得られるような濃い3日間を過ごしたい。



CHUO UNIVERSITY is capable of acting beyond the boundaries as some members participate in J Pro Tour. The team appreciates this valuable opportunity to ride in a stage race by challenging the high-level race development for three days so that each member will learn something important.

明治大学

MEIJI UNIVERSITY

1938年創部。東京都心に4キャンパスを構える10学部28学科からなる総合大学の学生として、競技成績はもちろんのこと、「[個]を強くする大学」をスローガンのもと、一人一人が社会で羽ばたく広い視座を有した人格形成を行いながら、日々活動しています。チーム最大の目標は、インカレ総合優勝です。

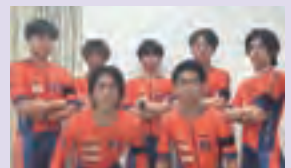


The club was established in 1938. As students of the university consists of 10 faculties and 28 departments over 4 campuses, the team members have been training aiming for winning the intercollegiate tournament as well as developing each personality to be active in society under the philosophy "Individual Empowerment".

法政大学

HOSEI UNIVERSITY

法政大学自転車競技部は1937年に創部され、今年で87年目となる歴史あるチームです。「一走入魂」を心に選手一人一人が毎ステージごとに心を込めて走ります。



It has been 87 years since the establishment in 1937. Each member will give best efforts to ride with the slogan "One ride, One spirit"

京都産業大学

KYOTO SANGYO UNIVERSITY

昨年第1ステージで全滅という負の偉業を成し遂げてしまいました。今年は学生選手権クリテリウムで優勝した田村一暉、全日本選手権トラックレースで上位に食い込んだ矢萩悠也、全日本選手権U23で3位入賞の上野颯斗の3名で昨年の汚名を返上したいと思っています。



KYOTO SANGYO UNIVERSITY will challenge with Tamura (winner of Student Criterium Championships), Yahagi (high ranking at National Track Championships) and Ueno (3rd, National Road Championships U23) to clear its name from the dishonor that the whole team was wiped out of the race at Stage 1 in 2022.

ツール・ド・北海道を より楽しむための 基礎知識

ツール・ド・北海道は1987年に始まり、北海道の雄大な自然の中を、公道を使用して町から町へと巡る本格的な自転車ステージレースである。1991年の第5回大会に韓国、アイルランドが海外チームとして初参加し、1997年の第11回大会にUCI公認の国際大会として承認されてから、今年で27年目を迎える。世界的に有名なツール・ド・フランスは、フランスおよび周辺国を舞台としたレースであり、ツール・ド・北海道はその日本版と言えるだろう。

そのツール・ド・フランスには、1996年に今中大介選手、2009年に新城幸也選手と別部史之選手が出場している。その後、新城選手は通算7回の出場を果たしている。また、2021年に開催された東京オリンピックの自転車ロードレースには前述の新城幸也選手とツール・ド・北海道2016で優勝した増田成幸選手が出場した。

カラフルなウエアをまとい、輝きながら近づいてくる銀輪集団のスピードは平均時速40km以上の速さとなる。そして、選手達とともに通り過ぎる風を感じながら、その迫力あるスピード感はそこでしか味わえないものである。

Tour de Hokkaido has been the full-scale town-to town style road race held on public road in nature since its first edition in 1987 and it has also been 27 years as an UCI-sanctioned international race fulfilling the role as the gateway to the world. We can say that Tour de Hokkaido is sort of Japanese version of Tour de France which started in 1903.

In fact, many world-class Japanese riders like Daisuke IMANAKA, Yukiya ARASHIRO and Fumiyuki BEPPU used to participate in Tour de Hokkaido before stepping up to ride in Tour de France which Arashiro have participated 7 times so far. Also, ARASHIRO and MASUDA Nariyuki who won GC in Tour de Hokkaido 2016, participated in road race in Tokyo Olympic Games in 2021. In cycle road race, you can enjoy the vision of peloton with colorful gear and shiny wheels, and their speedy performance with aggressiveness which the cycle road race can only provide.

①ゼッケン

最初は所属する選手のうち、前年の個人成績が最もいい選手の順位を抽出し、チーム順を決める。移籍した場合は今年の所属チームにその権利が与えられる。チームエースを下ひとケタ1番にするが、厳密な規定はない。

Race Numbers

The order of participating team is determined by taking into consideration of the previous season's results. In case of transferring the team, riders will carry points to their new team. The team leader tends to be given final digit "1" of the race number.



③補給所

長丁場のレースを走り抜くためには欠かせないのが補給所である。原則 150km以上のステージには補給地点を設定し、選手に好みに応じた食料等の補給を行う。補給スタッフはチームの役員 (UCI または JCF 登録者) が担当、スタート前に先行して補給地点に向かう。

Feed Zone

Feed zone must be installed in the stage longer than 150 km according to UCI regulations.

Each team staff with UCI or JCF license get there in ahead of time to supply their riders sufficient food and drink when riders passing by there.



②総合優勝

ステージレースは数日間にわたって各区間を走り抜き、総走行距離を最も早いタイムで完走した選手を総合優勝とするものである。チームエースを勝たせるために高度な戦略を取って戦い、各チームは総合優勝をねらうエースと、それを援護するアシスト役に分業、チームが一丸となって戦っているのが自転車レースの魅力である。マラカイトグリーンジャージを着て走るのがその時点でのリーダーであり、その他、青色のポイントジャージと赤色の山岳ジャージがある。



General Individual Time Classification

It is awarded to the rider with the shortest overall time for all the stages added together, the rider who has covered the course faster than anyone else.

Other riders totally dedicate to assist their team leader. In Tour de Hokkaido, you can recognize the leaders by jersey colors: Green: GC, Blue: Points, and Red: KOM

④タイムオーバー

ステージ難度に応じて制限タイムが算出され、それをオーバーした選手が失格となる。たとえば区間優勝者の平均速度の6%とか、山岳ステージでは14%が制限タイムとなるが、気象状況や不測の事態などが考慮されて救済される場合もある。ツール・ド・北海道の特別規則で北海道においては、交通事情を考慮して先頭選手が通過してから20分でオーバータイムとして選手が失格となる。もちろんフィニッシュにおいても区間優勝選手から20分を過ぎると失格となる。

Finishing time limit

In general, finishing deadline is decided depending on the characteristics of the stage. The riders who are past this time limit will be eliminated from the race, except for the bad weather condition or unpredictable accidents.

The specific regulations of Tour de Hokkaido set the finishing deadline in accordance with the traffic situation in Hokkaido: In case of more than 20 minutes delay from the leading rider, the riders will be eliminated from the race.

⑤ドーピングコントロール

各ステージのフィニッシュ地点に対象選手のゼッケンが提示され、ドーピングコントロールが行われる。不正薬物が検出されたら、記録が抹消され制裁をも加えられる。また、シーズンを通して抜き打ち検査も行われることもある。

Doping control

Doping control is conducted after each stage. The riders concerned will be notified in person by the chaperon right after crossing the finish line and their numbers are posted at finish area. In case of violation, they are not only penalized also their records will be deleted. Some athletes even get out-of-competition testing without any notice during season.

⑥隊列および随行車両関係

キャラバン編成表を見れば多くの車両が随行していることがわかる。広報車やパトカーに挟まれた部分に、本部車、審判車、チームカー（各チーム1台）、共通機材車や救護車で選手の前後に位置しサポートする。また、タイムオーバーした選手は、後方関門車の指示で選手収容車に収容する。

Race Vehicles

The chart of the race caravan shows that various race vehicles (organizer, commissaries, team, neutral service, doctor, ambulance etc.) are allocated during the race for each task to support the riders. The riders who are behind the finishing time limit are picked up by the broom wagon.



⑦エースとアシスト

ステージレースでは、各チームはエースを勝たせるための作戦をもってレースに臨む。競技の運営も、チームカーを配置するなどチーム全体としてのサポートを前提とした運営がなされる。チームの中で、優勝を狙うエースと、それを色々な場面でサポートするアシスト（エース以外の選手）に明確に役割分担がなされている訳である。アシストは、ある時は風除けになり、また集団の中でのトラブルからエースを守り、また他チームの選手が先行すれば、それを追走して集団から差がつかないように、適宜対応する。またエースも、峠や終盤などでチャンスがあれば自ら先行して、他チームのエースとのタイム差を広げる。

Riders' task: Ace and Assist

Race strategy of each team is the highlight of the stage race. Assist riders devote themselves flexibly to support and promote their leaders' chances. They would be the windshield to protect him or follow the other teams to close the gap between the groups.

⑧ロードレースはチームプレー

平地では、いかに集団の中で風圧を避けて体力を温存し、最後の瞬発力で争うのか、あるいは一人で風を受けるリスクを負ってでも集団（他の有力選手）から先行して差をつけるのかが、重要な選択となる。そうした選手の心理を推測するのも興味深いところである。チームのエースは、多くの場合、集団の中で自チームの選手に守られて走る。その状況において先行する機を窺い集団から先行して逃げることはあっても、決して集団の先頭を走ることはない。こうした点が自転車のロードレースとマラソン等他の競技との決定的な違いである。

Team Strategy

In general, while the assist riders are riding in front of the peloton, the team leader is staying in the back to save enough energy to be ready for the sprint for utilizing any chance. While the principle remains of the winner being the first to cross the line, many of the riders are grouped together in teams. The choice will depend on the situation. Cycle road race doesn't follow the typical format of most other sports.



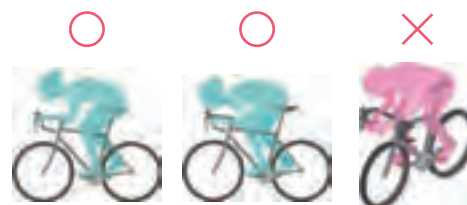
⑨新ルールについて（2021年4月1日から適用）

1. レース中の投げ捨て禁止

所定のゾーン（Litter zone）以外でごみや物を捨てる行為は、状況によっては危険を伴うばかりでなく、環境や自転車のイメージに悪影響を与える。主催者は30～40kmごとに、十分な長さの廃棄ゾーンを複数設置しなければならない。

2. 乗車姿勢

競技者は、条項 1.3.008 で定義されている標準的な姿勢を守らなければならない。この姿勢とは、ペダルに足を、ハンドルバーに手を置き、サドルに着座するものである。



Rules amendments (applied on 01.04.2021)

1. No littering outside the designated litter zone during the race

Throwing waste outside the designate area could not only cause the dangerous incidents but also give the negative image of the environment and cycle road race.

Organizers must provide several litter zones of sufficient length situated every 30-40 kilometers throughout the rout of the event or stage. A final litter zone shall be provided in the last between 20 kilometers to go and 10 kilometers to go of a race or stage and before the final section.

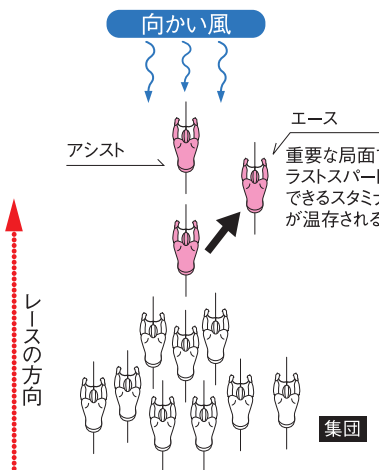
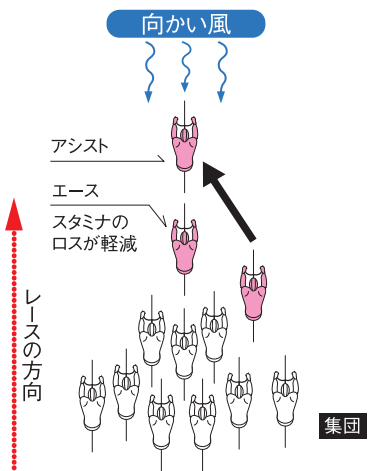
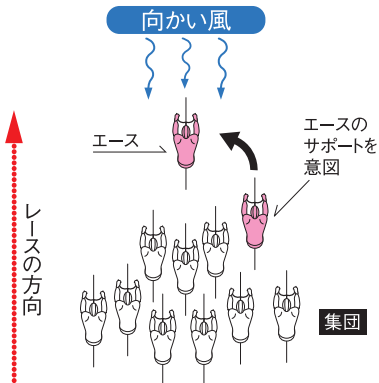
2. Position

Riders must observe the standard position as defined by article 1.3.008. Sitting on the bicycle's top tube is prohibited. This position requires that the only points of support are the following: the feet on the pedals, the hands on the handlebars and the seat on the saddles.

1

味方エースの向かい風を軽減させるアシスト。

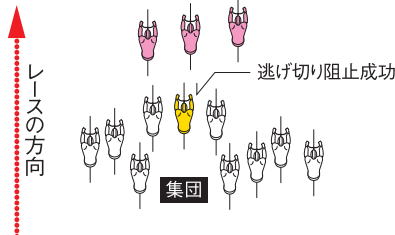
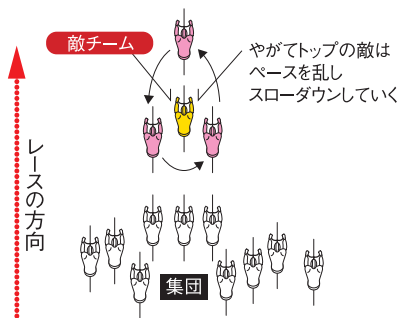
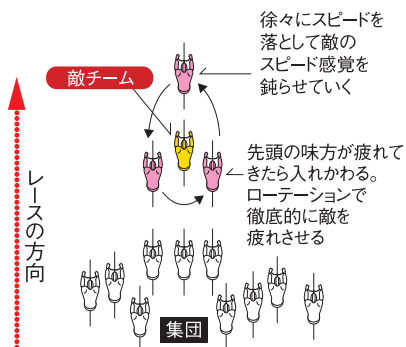
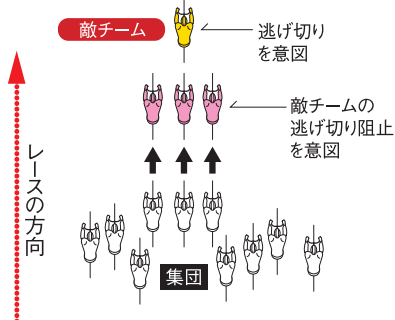
彼の仕事は、味方エースのスタミナのロスを少しでも軽減させることである。長い距離でもあるので、アシストがあるのとないのでは、大きな差がでる。



2

包囲網を形成し、敵チームのスローダウンを狙うフォーメーション。

彼らの目的は、敵の先行逃げ切り型の作戦を阻止することである。敵チームの前に出ながら、気づかれぬようにスピードダウンし敵のスピード感覚を徐々に乱していくのである。敵チームとしても、しつこく包囲されることによって、精神的にもキツイ状態に追い込まれていく。

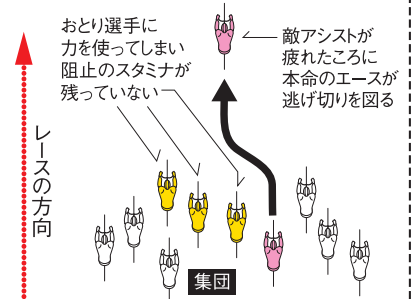
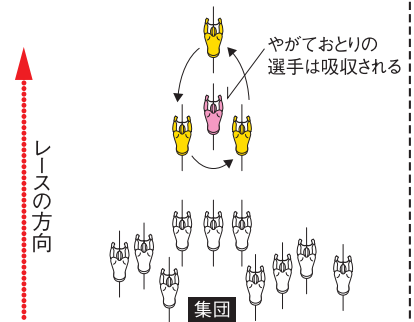
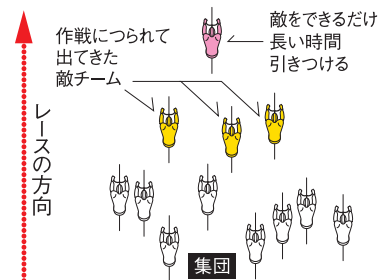
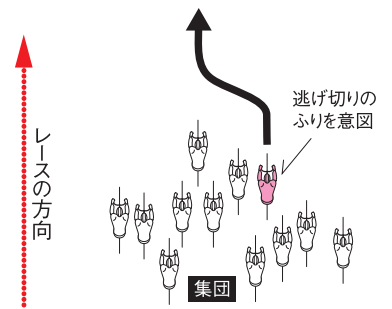


先頭集団はやがて後続の集団に押し戻されていく。この状態を“吸収”という。

3

敵チームのスタミナ配分を乱す作戦。

彼の目的は、トップでゴールインすることではなく、1位を狙う選手のスタミナ配分を狂わせ、結果的に味方チームのエースが計算通りに走れるようにすることである。



ツール・ド・北海道 2023 ロードレースキャラバン編成表 Motorcade Formation for Tour de Hokkaido 2023

第1、第2、第3ステージ(スタート時のパレード区間) Stage 1,2,3[Parade section at the start]

進行方向 Direction of progress	先頭誘導パトカー Lead police car	先頭広報車 Public information car	規制予告パトカー Police car for advance notice of traffic restrictions	本部車No.1 Guests No.1
MEDIA No.2 Media car No.2	先導パトカー Escort police car	リードビークル Lead vehicle	カメラオートバイ Camera motorcycle	オートバイエスコート Motorcycle escort
共通機材車 Neutral service motorcycle	共通機材車 Neutral service vehicle	レースディレクターカー Event director's car	MEDIA No.1 Media car No.1	審判オートバイ Commissaire's motorcycle
COM2 Commissaire's car 2	選手団 Riders		COM1 Commissaire's car 1	審判オートバイ Commissaire's motorcycle
オートバイエスコート Motorcycle escort	TVオートバイ TV motorcycle	ドクターカー Doctor's car	共通機材車 Neutral service vehicle	COM3 Commissaire's car 3
チームカー Team cars	審判オートバイ Commissaire's motorcycle	COM4 Commissaire's car 4	救護車 Ambulance	後方関門車 Sag wagon
選手收容車1 Rider pick-up vehicle1	選手收容車2 Rider pick-up vehicle2	規制解除パトカー Police car for lifting traffic restrictions	後方広報車 Public information car at the rear	

STAGE 1

9/8

第1ステージ 174km (ロードレース)
旭川市～新得町

■第1ステージ日程表／Schedule

スタート：旭川市 旭川市総合防災センター <9:30>

フィニッシュ：新得町 十勝サホロリゾート <13:41～14:01>

表彰式：新得町 サホロスキー場駐車場特設会場 <14:15～14:45>

Start : Disaster Prevention Center, Asahikawa City <9:30>

Finish : Tokachi Sahoro Resort, Shintoku Town <13:41～14:01>




Awards Ceremony : Parking lot of Sahoro Ski Ground, Shintoku Town <14:15～14:45>

September 8 (Fri.) Stage 1 : 174km (Road Race) Asahikawa City ~ Shintoku Town





交通アクセス (Access)

スタート地点：旭川市 旭川市総合防災センター

-  ... 電気軌道バス84番「旭川駅前～東光スポーツ公園」 35分
空港連絡バス(直行便)「旭川空港～JR旭川駅」 35分
「JR旭川駅周辺」から15分 (7km)
-  ... 「JR札幌駅周辺【道央自動車道経由】」から135分 (149km)
「旭川空港周辺」から18分 (10km)
「新千歳空港周辺【道央自動車道経由】」から150分 (189km)
-  ... 「JR札幌駅」～「JR旭川駅」 90分
「JR新千歳空港駅」～「JR旭川駅」 140分



フィニッシュ地点：新得町 十勝サホロリゾート

-  ... 「JR新得駅周辺」から12分 (11km)
「JR帯広駅周辺」から60分 (54km)
「JR旭川駅周辺」から135分 (115km)
-  ... 「JR札幌駅周辺【道東自動車道経由】」から150分 (172km)
「新千歳空港周辺【道東自動車道経由】」から115分 (130km)
「JR帯広駅」～「JR新得駅」 50分
「JR札幌駅」～「JR新得駅」 125分
「JR新千歳空港駅」～「JR新得駅」 110分

Start : Disaster Prevention Center, Asahikawa City

-  ... From Asahikawa sta. (Asahikawa Denkikido Bus No. 84)
... Get off at "Toko Sports Park" 35-min.
-  ... From Asahikawa Airport (Airport Shuttle Bus)
... Get off at "JR Asahikawa sta." 35-min.
From JR Asahikawa sta. ... 15-min. (7km)
-  ... From JR Sapporo sta. (thru Doo Epressway) ... 135-min. (149km)
From Asahikawa Airport ... 18-min. (10km)
From New Chitose Airport(thru Doo Epressway) ... 150-min.(189km)
-  ... From JR Sapporo sta. to JR Asahikawa sta. ... 90-min.
From JR New Chitose Airport sta. to JR Asahikawa sta. ... 140-min

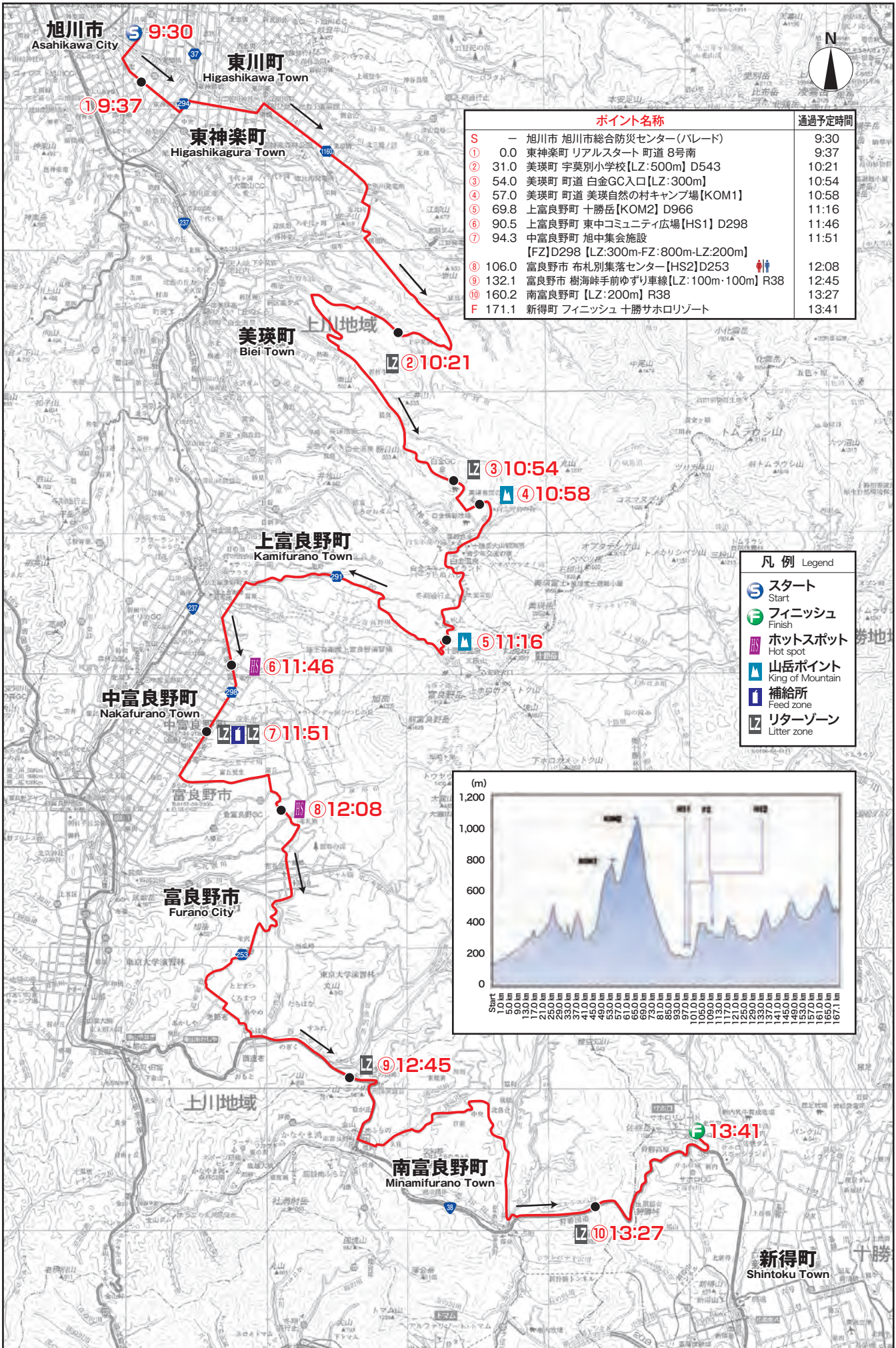
Finish : Tokachi Sahoro Resort, Shintoku Town

-  ... From JR Shintoku sta. ... 12-min. (11km)
From JR Obihiro sta. ... 60-min. (54km)
-  ... From JR Asahikawa sta. ... 135-min. (115km)
From JR Sapporo sta. (thru Doo Epressway) ... 150-min. (172km)
From New Chitose Airport(thru Doo Epressway) ... 115-min. (130km)
From JR Obihiro sta. to JR Shintoku sta. ... 50-min.
From JR Sapporo sta. to JR Shintoku sta. ... 125-min.
From JR New Chitose Airport sta. to JR Asahikawa sta. ... 110-min.

旭川市総合防災センターを出発し、東神楽町までの3kmのパレード走行の後、リアルスタートの合図でツール・ド・北海道2023が開幕します。隊列は大雪山連峰を正面に美しい田園風景の中を進みながら、17km地点での右折後、徐々に標高を上げて最初の山岳ポイントである、美瑛町自然の村キャンプ場入口を超えて更に上り続け、十勝岳で2回目の山岳ポイントを競います。そのあとは一気に峠を14km下り、上富良野町、富良野市のホットスポットでポイントを競い、富良野市麓郷から南富良野町を抜け新得町十勝サホロリゾートでフィニッシュします。第1ステージは選手にとって特に走行制限時間(特別規則により先頭から20分以上遅れると失格)との戦いとなるコースでもあります。

Tour de Hokkaido 2023 starts from Disaster Prevention Center in Asahikawa City with 3km-neutral parade. After going through pastoral scenery to the corner of 17km point, the route travels up the first KOM (King of Mountain), the entrance of Biei Campsite. Following the second KOM at Mt. Tokachidake, the descent leads to the Hot Spots (Intermediate Sprint) set in Kamifurano Town and Furano City. The peloton will cross the finish line at Tokachi Sahoro Resort in Shintoku Town after riding through Rokugo area in Furano City and Minamifurano Town. Riders need the strategy to deal with the finishing time limit (specific regulations: riders being late from the leaders more than 20 minutes are disqualified) to complete this stage.

STAGE 1 MAP





■旭川市 (Asahikawa City)

北海道のほぼ中央、雄大な大雪山連峰の麓に位置する旭川市は、石狩川をはじめ多くの川が流れ、明瞭な四季が織りなす豊かな自然に恵まれた北海道第2の都市であります。また、農業・商工業が営まれているとともに、医療、教育などの都市機能が充実しているほか、行動展示で有名な旭川市旭山動物園、あさひかわラーメン村、カムイスキーリンクスなど魅力的なスポットが点在し、毎年国内外から多くの観光客が訪れています。

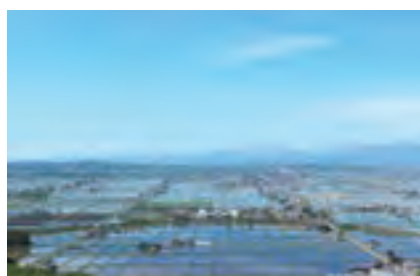
Asahikawa City, located in the bottom area of the Daisetsuzan Mountains, near center of Hokkaido is the second largest city in Hokkaido blessed with distinctive natural beauty created each season. The City is also fulfilled with urban function including medical care and education as well as agriculture, commerce and industry, while there are many attractive spots (Asahiyama Zoo, Asahikawa Ramen Village, Kamui Ski Links) that are drawing tourists' attention from home and abroad.



■東神楽町 (Higashikagura Town)

東神楽町は、北海道の真ん中にある大雪山のふもとに位置し、観光地で有名な旭川や美瑛、東川にも近く、「自然と都市が調和したまち」です。忠別川がもたらした肥沃な農地を生かし、農業のまちとして発展してきました。美しくのどかな田園空間が一面に広がり、緑と澄んだ空気に包まれた豊かな自然が息づくとともに、「花のまち」としても知られています。道北の空の玄関である旭川空港があるアクセスのいい東神楽町にぜひお越しください。

Located in the bottom of Mt. Daisetsuzan, the center of Hokkaido, Higashikagura Town has been developed as the agricultural town thanks to the fertile farmland while been close to famous tourists' spots, Asahikawa City, Biei Town and Higashikawa Town. The Town is also known for its flower with beautiful pastoral atmosphere provided by abundant nature spreading over. Please come and visit easily accessible Higashikagura Town where the entrance of northern Hokkaido, Asahikawa Airport is located.



■東川町 (Higashikawa Town)

東川町は、北海道最高峰旭岳(2291m)の麓にある全国でも数少ない「上水道のない町」です。良質な天然水により「ゆめびりか」や「ななつぼし」などの良質の米や野菜の産地になっているほか、最近ではカフェやパン、アウトドアショップなどおしゃれな店が多数出店し多くの人が訪れています。また、「住民の半数以上が移住者」の町として知られ、ここ25年間で人口が2割程度増えており、現在も微増を続けています。

Located in the foot of Mt. Asahidake (H=2,291m), Higashikawa is one of the few towns in Japan that doesn't use tap water. The Town is also the home of the agricultural product including high-quality rice, "Yumepirika" and "Nanatsuboshi" thanks to the natural water while many stylish shops opened recently, are attracting many tourists. Known as the town of immigrants, the population of the town has been still growing after twenty percent increase in twenty five years.



■美瑛町 (Biei Town)

美瑛町は北海道のほぼ中央に位置し、自然と人々の営みによって育まれた美しい農業の景観が人々に感動を与え、「丘のまちなみ」として全国的に有名になりました。近年は美瑛川の砂防整備によって生まれた「青い池」が幻想的な風景に広がる観光スポットとして多くの観光客が訪れています。

Located in the center of Hokkaido, Biei Town is known as one of the Most Beautiful Villages in Japan while attracting visitors with the agricultural landscapes created by nature and daily lives of local people. "Blue Pond", the by-product of sand control of Biei River, draws tourists' attention with its fantastic view.



■上富良野町 (Kamifurano Town)

上富良野町は活火山・十勝岳のふもと、豊かな恵みあふれる、美しく住み良い町です。火山帯特有の土壌や盆地の形状が農産物、畜産物に独特の旨みや高い品質を産み出します。ラベンダー、ぶらのメロン、豚ざがり、道内で最も標高が高い十勝岳温泉郷、そしてホップ生産100年の歴史を持つビールの聖地でもあります。雄大な自然と豊かな恵みで育まれる上富良野町にぜひお越しください。

Located in the foot of active volcano and blessed with abundant natural resources, Mt. Tokachidake, Kamifurano Town is the comfortable place to live. The volcanic soil created by the terrain makes it possible to produce unique and high-quality agricultural livestock products. The Town is also known for its lavender fields, Furano melon, pork (hanging tender), Tokachidake Onsenkyo (hot springs) and its hop cultivation with 100-year history. Please come to enjoy abundant gift from nature at Kamifurano Town.



■中富良野町 (Nakafurano Town)

中富良野町は北海道のほぼ中心にあり、自然が豊かで景色がとてきれいなまちです。町のシンボル「北星山」の頂上からは、紫が一面に広がるラベンダー畑と緑あふれる田園風景、青々と雄大な十勝岳の山並み、その全てが織りなす美しいコントラストが一望できます。7月中旬に開催の「ラベンダーまつり」では、頭上にかかる花火と満開の花畑をご覧ください。

Lying at the center of Hokkaido, abundant nature of Nakafurano Town presents the beautiful scenery to us. From the top of Mt. Hokusei, you can command the view with beautiful contrast created by lavender field and Mt. Tokachidake. At annual "Lavender Festival" held in the middle of July, fireworks sparkles over the lavender fields in full bloom.



■富良野市 (Furano City)

“へそとスキーとワインのまち”富良野市は、農業と観光が基幹産業の田園都市です。良質な雪質と大雪山連峰の雄大なオーケションを望む富良野スキー場、ワイン・チーズなどの特産品、ごみのリサイクル、へそ祭り、演劇など、地域資源を生かしたまちづくりに取り組んでいます。また、中心部にある“地元食”をテーマにした「フラノマルシェ」「マルシェ2」は、農産物やスイーツなどが勢揃いした食の発信地で、連日多くの観光客でにぎわいます。

With agriculture and tourism as the main industries and known as "the garden town of heso (navel) and wine", Furano City has been promoting the town development with community resources including ski ground with good snow and location, local specialty (wine, cheese etc.), garbage-recycling and cultural activities. "Furano Marche" and "Marche 2" are the famous tourist's spots in downtown.



■南富良野町 (Minamifurano Town)

北海道のほぼ中央に位置し、東西に貫流する空地川に沿って集落が形成され、豊かな森林につつまれた自然豊かな町です。ラフティングやキャンプをはじめ、冬のワカサギ釣りなど、年中を通して多彩なアクティビティを楽しむことができます。また、昨年には、道の駅に道内最大級の売り場面積のモンベルショップや、地元食材を食べられるレストラン・フードコートが出店する複合型商業施設がオープンし、大きな賑わいを見せています。ぜひ、皆さんも南富良野町にお越しください。

Located in the center of Hokkaido with community formed along Sorachi River flowing through east to west, Minamifurano Town is rich in nature surrounded by forest. The Town has many outdoor activities to offer throughout the year: rafting, camping, ice fishing. Mont-bell shop at Michi-no-eki and shopping mall with local gourmet restaurant and food court, grand opened in 2022 are also attracting visitors as popular spots. Please come to visit Minamifurano Town.

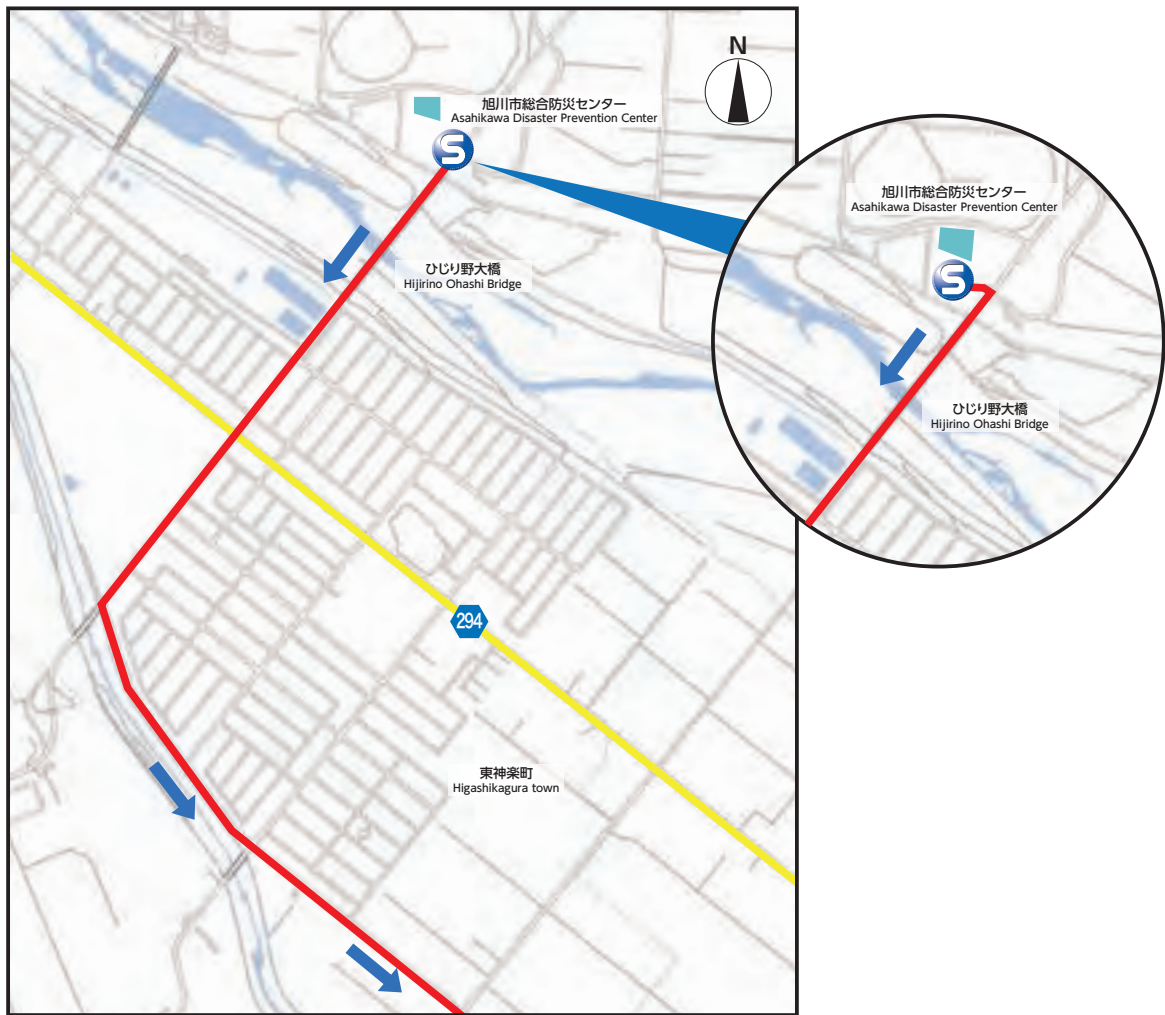


■新得町 (Shintoku Town)

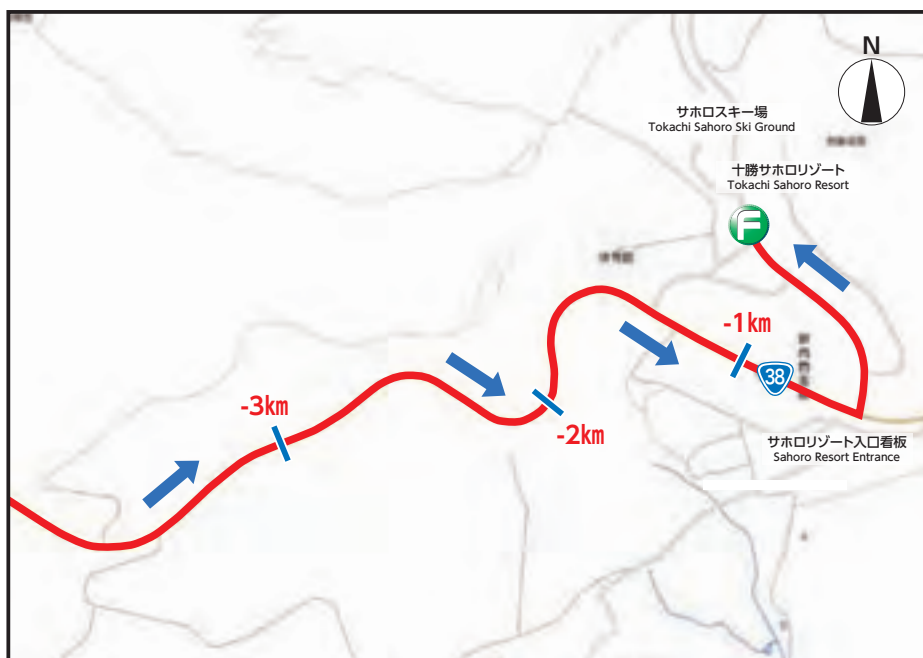
北海道の重心地・新得町は東大雪山系と日高山脈に抱かれた自然が豊かに残る町です。昼夜の寒暖差が大きい山麓特有の地の利を活かし作られる蕎麦は「風味豊かな新得のそば」として全国的にも有名です。毎年9月下旬に開催される「しんとく新そば祭り」には全国各地から多くの蕎麦ファンが訪れ盛り上がりします。また町内では4軒の熟練した職人が打つ蕎麦がお召し上がりいただけます。

Shintoku Town lies right in the center of Hokkaido surrounded by beautiful Higashi Daisetsu mountain range and Hidaka mountains. "Flavorful soba" made with its geographical advantage is known nationwide. Annual Shinsoba Matsuri (festival) held the last Sunday of September attracts many soba fans from all over Japan. There are four soba restaurants with skilled soba chefs.

第1ステージ スタート会場マップ / Stage 1 Start venue Map



第1ステージ フィニッシュ会場マップ / Stage 1 Finish venue Map



過酷な現場環境でも安心して使える接近検知・警報センサ

ヒヤリハンターTM 高耐久

NEW
新製品

高耐久版、新登場。

筐体・コネクタを変更

制御ユニットのボディ素材を樹脂からメタル素材に変更し、耐衝撃性を強化。ケーブルコネクタをメタルコネクタに変更し、破損リスクを軽減。

振動・浸水対策の強化

従来品に比べて、振動対策・浸水対策を強化。

低消費電力化を実現

従来品に比べて、消費電力を約3分の1に低減。



行こう、
労働災害のない未来へ。

ヒヤリハンターは、掘削・フォークリフトと作業者の
接触事故をなくするための安全装置です。



ヒヤリハンターブランドサイト
<https://hiyari-hunter.powertag.jp/>

Ultimate perfection



COSMIC ULTIMATE 45 DISC

1255g
(pair)*

史上最高のホイールを作ること

コスミックアルチメイトは、ハンドクラフトの熟練した技術と、エンジニアによる最新のカーボン素材研究の融合から生まれました。フランス・アヌシーの本社工場において設計・製造されたこのホイールは、71個ものカーボン素材を適切に配置し、細心の注意を払って1本あたり約8時間をかけて組み上げられます。その結果、モノブロック構造・テーブレスチューブレス・ディスクブレーキと言う、現在における必要な要素を全て併せ持つ、驚異的なパフォーマンスを持った史上最高のホイールが具現化しました。軽快な加速、コーナーでのダイナミックな動き、そしてエアロダイナミクスを追求したこのホイールは、どんな路面にも対応し、新たなレベルのパフォーマンスを実現します。

*利用規約はmavic.com/careをご覧ください。

*重量はXD-Rホイール装着の際の重量です。



MAVIC

STAGE 2

9/9

第2ステージ 183km (ロードレース)
帯広市～置戸町

■第2ステージ日程表 / Schedule

スタート：帯広市 帯広競馬場<9:30>

フィニッシュ：置戸町 イベント広場<13:52~14:12>

表彰式：置戸町 置戸町中央公民館特設会場<14:30~15:00>

Start : Obihiro Racecourse, Obihiro City<9:30>

Finish : Oketo Event Square, Oketo Town<13:52~14:12>

Awards Ceremony : Oketo Community Center, Oketo Town<14:30~15:00>

September 9 (Sat.) Stage 2 : 183km (Road Race) Obihiro City ~ Oketo Town



交通アクセス (Access)

スタート地点：帯広市 帯広競馬場



… JR帯広駅から 徒歩25分 (2km)



… 十勝バス「帯広駅バスターミナル～帯広競馬場」 16分
空港連絡バス「とち帯広空港～帯広競馬場」 55分



… 「JR帯広駅周辺」から5分 (2km)
… 「とち帯広空港周辺」から30分 (25km)
… 「JR旭川駅周辺」から200分 (166km)
… 「JR札幌駅周辺【道央・道東自動車道経由】」から170分 (200km)



… 「JR札幌駅」～「JR帯広駅」 150分

フィニッシュ地点：置戸町 イベント広場



… 北見バス(置戸町方面行)「北見バスターミナル～置戸町役場」 60分



… 「JR北見駅周辺」から40分 (32km)
… 「JR帯広駅周辺」から120分 (113km)
… 「JR留辺蘂駅周辺」から20分 (16km)
… 「女満別空港周辺」から80分 (67km)

Start : Obihiro Racecourse, Obihiro City



… From JR Obihiro sta. ... 25-min.. (2km)



From Obihiro Bus Terminal (Tokachi Bus)
… Get off at "Obihiro Racecourse" 16-min.
From Tokachi Obihiro Airport (Obihiro City Shuttle Bus)
… Get off at "Obihiro Racecourse" 55-min.



From JR Obihiro sta. ... 5-min. (2km)
From Tokachi Obihiro Airport ... 30-min. (25km)
From JR Asahikawa sta. ... 200-min. (166km)
From JR Sapporo sta. (thru Doo Epressway) ... 170-min. (200km)



… From JR Sapporo sta. to JR Obihiro sta. ... 150-min.

Finish : Event Square, Oketo Town



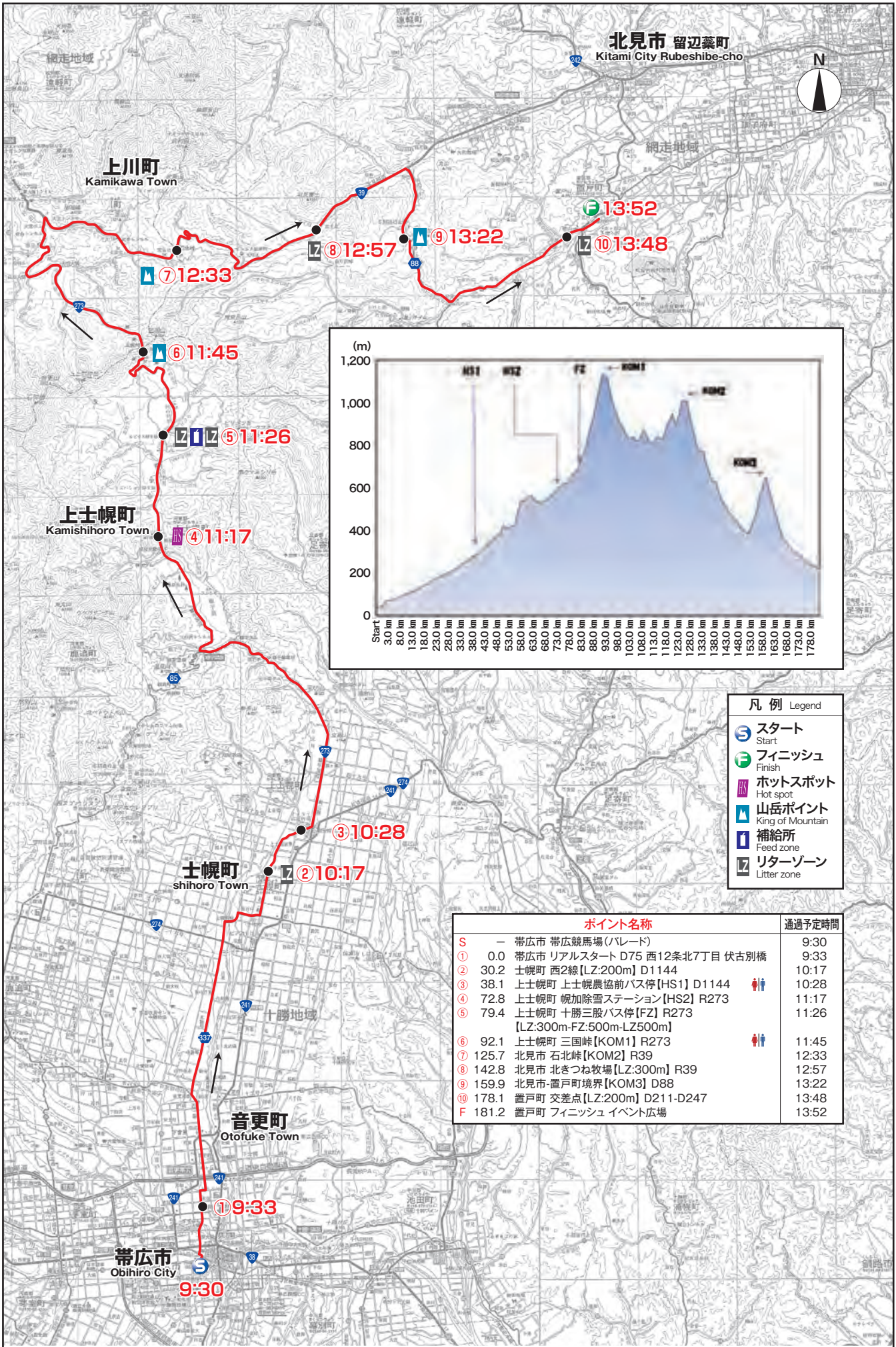
… From Kitami Bus Terminal (Kitami Bus)
… Get off at "Oketo Town Hall" 60-min.



From JR Kitami sta. ... 40-min. (32km)
From JR Obihiro sta. ... 120-min. (113km)
From JR Rubeshibe sta. ... 20-min. (16km)
From Memanbetsu Airport ... 80-min. (67km)

帯広競馬場からスタートし、序盤は広大な十勝平野の中の平坦な直線道路が長く続き、今大会の最高標高となる三国峠(1,138m)で1回目の山岳ポイント、続く石北峠で2回目の山岳ポイントを競います。更にフィニッシュの23km手前となる北見市と置戸町の境界付近に3回目の山岳ポイントが設けられています。この山岳ポイント前後の14kmは本ステージの最大の勝負所であり、最後まで選手の体力を奪う過酷な設定となっています。このコースを攻略するためには、序盤に設定された2つのホットスポットでのボーナスタイムの獲得が必要となることでしょう。

Starting from Obihiro Racecourse, following the long straight road through vast Tokachi Plain at the beginning, the route climbs up consecutive three KOMs (King of Mountain) including the highest one of this year, the first KOM, Mikuni Pass (H=1,138m). Following the second KOM at Sekihoku Pass, approximately 14km around the boundary of Kitami City and Oketo Town, is the third KOM, the decisive point of this stage. The terrain requires physical strength to complete the stage and bonus time provided by two Hot Spots (Intermediate Sprint) installed at the beginning of the stage is the key to capture this course.



- 凡例 Legend
- スタート Start
 - フィニッシュ Finish
 - ホットスポット Hot spot
 - 山岳ポイント King of Mountain
 - 補給所 Feed zone
 - リターゾーン Litter zone

ポイント名称	通過予定時間
S - 帯広市 帯広競馬場(バレード)	9:30
① 0.0 帯広市 リアルスタート D75 西12条北7丁目 伏古別橋	9:33
② 30.2 士幌町 西2線[LZ:200m] D1144	10:17
③ 38.1 上士幌町 上士幌農協前バス停[HS1] D1144	10:28
④ 72.8 上士幌町 幌加除雪ステーション[HS2] R273	11:17
⑤ 79.4 上士幌町 十勝三股バス停[FZ] R273 [LZ:300m-FZ:500m-LZ500m]	11:26
⑥ 92.1 上士幌町 三国峠[KOM1] R273	11:45
⑦ 125.7 北見市 石北峠[KOM2] R39	12:33
⑧ 142.8 北見市 北きつね牧場[LZ:300m] R39	12:57
⑨ 159.9 北見市-置戸町境界[KOM3] D88	13:22
⑩ 178.1 置戸町 交差点[LZ:200m] D211-D247	13:48
F 181.2 置戸町 フィニッシュイベント広場	13:52



■帯広市 (Obihiro City)

帯広市は、日本を代表する食材基地・十勝の中央に位置する人口約17万人の都市です。市街地は、オーストリア・ウィーンをモデルにした広大な森「帯広の森」に囲まれ、多くの緑やきれいな空気、美味しい水など、豊かな自然環境があります。また、世界で唯一、帯広市が開催している「ばんえい競馬」では、サラブレッドより体重が約2倍ある馬たちが、最大トーンもの鉄ノリを引き、カトスピードを競う迫力あるレースを展開しています。競馬場の敷地内には、十勝の食などの魅力を楽しむことのできる観光スポット「とかちむら」があります。

Located in the center of Tokachi region, Obihiro City, with population of 170,000, is the representative base of ingredients of Japan. Surrounded by the vast forest "Obihiro no Mori", modeled after Vienna, Austria, its downtown has beautiful natural environment including rich green, clear air, tasty water and so on. The city is also the world's only city that holds "Ban'ei Keiba". The heavy-built horses competes for power and speed, with pulling heavy iron sleighs with jockeys. At the tourist's spot, "Tokachimura" at Obihiro racecourse, you can enjoy local gourmet food.



■音更町 (Otofuke Town)

音更町は、十勝平野のほぼ中央に位置し、約23,300haの広大な農地で、約630戸の農家が小麦、豆類、てん菜、馬鈴薯を基幹とし、野菜、稲作、酪農および肉用牛を中心に、大型農業機械による大規模土地利用農業を展開し、各作目で全国的に大きなシェアを占めるなど、日本の食糧基地として重要な役割を果たしています。また、昨年オープンした「道の駅おとふけなつぞらのふる里」内の「なつぞら市場」では、新鮮な野菜や農畜産物を使った加工品や特産品を購入することができ、地元住民や観光客に人気となっています。

Located in the center of Tokachi Plain with 23,300-ha farmland, Otofuke Town plays important role as the food base in Japan by large-scale land use in producing various agricultural products as well as dairy farming and beef cattle. Natsuzora Marche at Michino-eki "Otofuke Natsuzora no Furusato" is attracting visitors, where you can buy local process food and specialty made of fresh vegetable and agricultural product.



■士幌町 (Shihoro Town)

士幌町は、十勝平野の中央に位置する基幹産業が農業のまちです。特産のじゃがいもで作るポテトチップをはじめ、おいしい「しほろ牛肉」のステーキやソフトクリームなどグルメが充実しています。十勝平野を一望できる標高600メートルの士幌高原に位置し、格安料金で利用できるコテージや、キャンプ場、バーベキューハウス、マウンテンバイクなど多彩な楽しみ方ができます。晴天の夜空の星は一見の価値あり!

Located in the center of Tokachi Plain, the main industry of Shihoro Town is agriculture. There are variety of local gourmet specialty such as Potato chips made with local potatoes, Shihoro beef and Soft serve ice cream. In addition, you can enjoy facilities and activities such as cottage, campsite, BBQ place and mountain biking. Stars in the clear night sky are must-see!



■上士幌町 (Kamishihoro Town)

毎年8月、上士幌町で開催される北海道バレーンフェスティバルは今年で第50回の節目を迎え、全国各地から参加する熱気球が上士幌の空を彩ります。また2020年にオープンした「道の駅かみしほろ」と十勝平野を一望できる「ナイタイ高原牧場」では、十勝の食材をふんだんに使用したグルメを楽しむのほか、大雪山国立公園内の温泉地「ぬかびら源泉郷」では源泉かけ流しの温泉をたっぷり堪能することができます。

Hokkaido Balloon Festival held in every August greets 50th anniversary this year. Hot balloons from all over Japan color the autumn sky in Kamishihoro. Not only fresh local gourmet menu at Michi-no-eki "Kamishihoro" opened in 2022 and Naitai Kogen Farm with great view of Tokachi Plain, you can also enjoy Gensen Kakenagashi-style (water comes directly from the hot spring source, not recycle) hot springs at "Nukabira Gensenkyo" located in Daisetsuzan National Park.



■上川町 (Kamikawa Town)

大雪山連峰の麓、清流と大自然に恵まれた層雲峡、愛山深、高原温泉の三つの温泉地を有し、国内外からのお客様を魅力あふれる四季の景色や雄大な渓谷、地元のお酒や食で「おもてなし」する観光のまち。大雪高原・旭ヶ丘では、自然と食とガーデンを中心とする観光地づくりで、農・商・観の連携によるまちづくりを進め、大雪山の大自然と温泉や地域の資源を活用した「北の山岳リゾート」を目指し、力を注いでいる。

Located in the foot of Daisetsuzan mountain range including three hot spring areas, Soukyo, Aizankei and Kogen Onsen with clear stream and abundant nature, Kamikawa Town is attracting tourists from home and abroad by offering hospitality through the beautiful seasonal scenery, magnificent valley, local sake and cuisine. The town is focusing on collaboration across different fields (agriculture, commerce and industry, and tourism) so as to create Northern Mountain Resort by utilizing local natural resources Asahigaoka at Daisetsu Kogen.

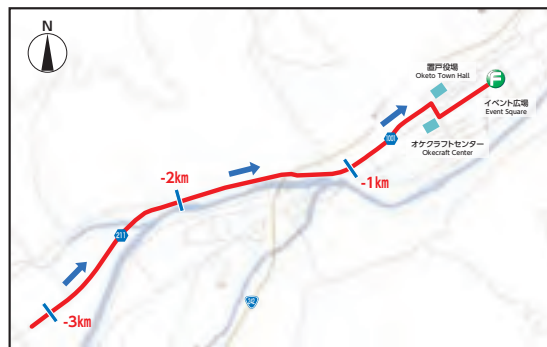
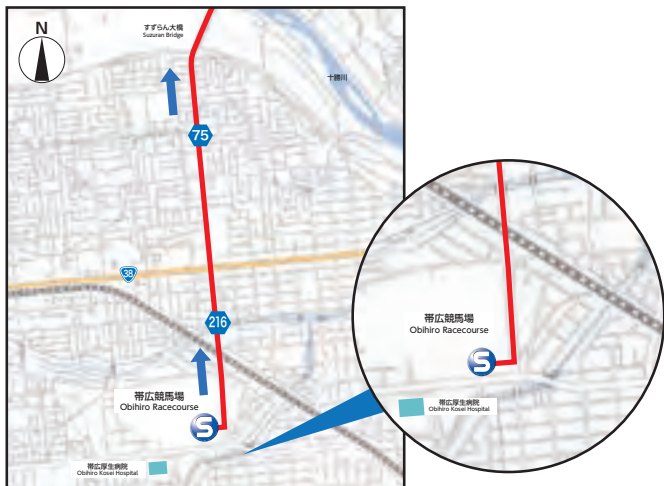


■置戸町 (Oketo Town)

大雪山の東端に接し、周囲を山に囲まれた自然豊かなまちです。夏冬・昼夜の寒暖差が大きい内陸性気候です。木を用いて製作する町特産品であるオケクラフトや、300kg、決勝では500kgに成長した丸太を人間が曳いて競い合う「人間ばん馬大会」など、木に深いつながりを持っています。こだわりの食材を使って調理し、オケクラフトの食器を用いて食べる学校給食は全国的にも有名です。

On eastern edge of Mt. Daisetsuzan and surrounded by mountains, Oketo Town is blessed with abundant nature. The life of the town is strongly connected with wood: Oke Craft is local specialty made with wood and at summer famous event, Ningen Bamba Race, people compete with each other with 300 to 500kg of logs being pulled. School lunch with finely selected ingredient served in Oke Craft is nationwide famous.

第2ステージ スタート会場マップ / Stage 2 Start venue Map





SINCE 1950
BORN IN JAPAN

サイクリストへのモノづくり。
その歴史を原動力に。



www.pearlizumi.co.jp

twitter.com/pearlizumi_jp

[instagram.com/pearlizumijapan](https://www.instagram.com/pearlizumijapan)

STAGE 3

9/10

175km (ロードレース)
北見市～当麻町

■第3ステージ日程表 / Schedule

スタート：北見市 北見市民スケートリンク<9:30>
フィニッシュ：当麻町 当麻町スポーツセンター<13:41～14:01>
ステージ表彰及び最終表彰式：当麻町 当麻町公民館「まとまる」<14:30～15:30>
Start : Kitami citizen skating rink, Kitami City<9:30>
Finish : Tohma Sports Center, Tohma Town<13:41～14:01>
Awards Ceremony and Overall Awards Ceremony (with no audience):
Tohma Community Center "Matomaaru", TohmaTown<14:30～15:30>

September 10 (Sun.) Stage 3 : 175km (Road Race) Kitami City ~ Tohma Town



交通アクセス (Access)

スタート地点：北見市 北見市民スケートリンク

- 北見バス (訓子府・置戸・勝山・陸別線)
… 「北見バスターミナル～北光1号線」 5分
空港連絡バス「女満別空港～北見バスターミナル」 42分
「JR北見駅周辺」から5分 (3km)
- … 「JR帯広駅周辺【道東自動車道】」から145分 (147km)
「女満別空港周辺」から40分 (33km)
- … 「JR札幌駅」～「JR北見駅」 273分
「JR旭川駅」～「JR北見駅」 172分

フィニッシュ地点：当麻町 スポーツセンター

- … 道北バス70番「1条8丁目 (旭川市)～当麻1丁目」 45分
道北バス70番「当麻駅前～当麻1丁目」 3分
「JR旭川駅周辺」から28分 (16km)
「JR北見駅周辺」から160分 (144km)
- … 「JR札幌駅周辺【道央自動車道経由】」から120分 (153km)
「旭川空港周辺」から30分 (22km)
- … 「JR旭川駅」～「JR当麻駅」 25分
「JR札幌駅」～「JR当麻駅」 120分

Start : Kitami Citizen Skating Rink, Kitami City

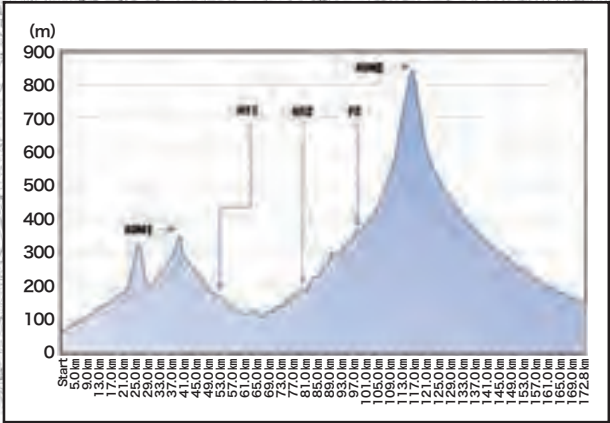
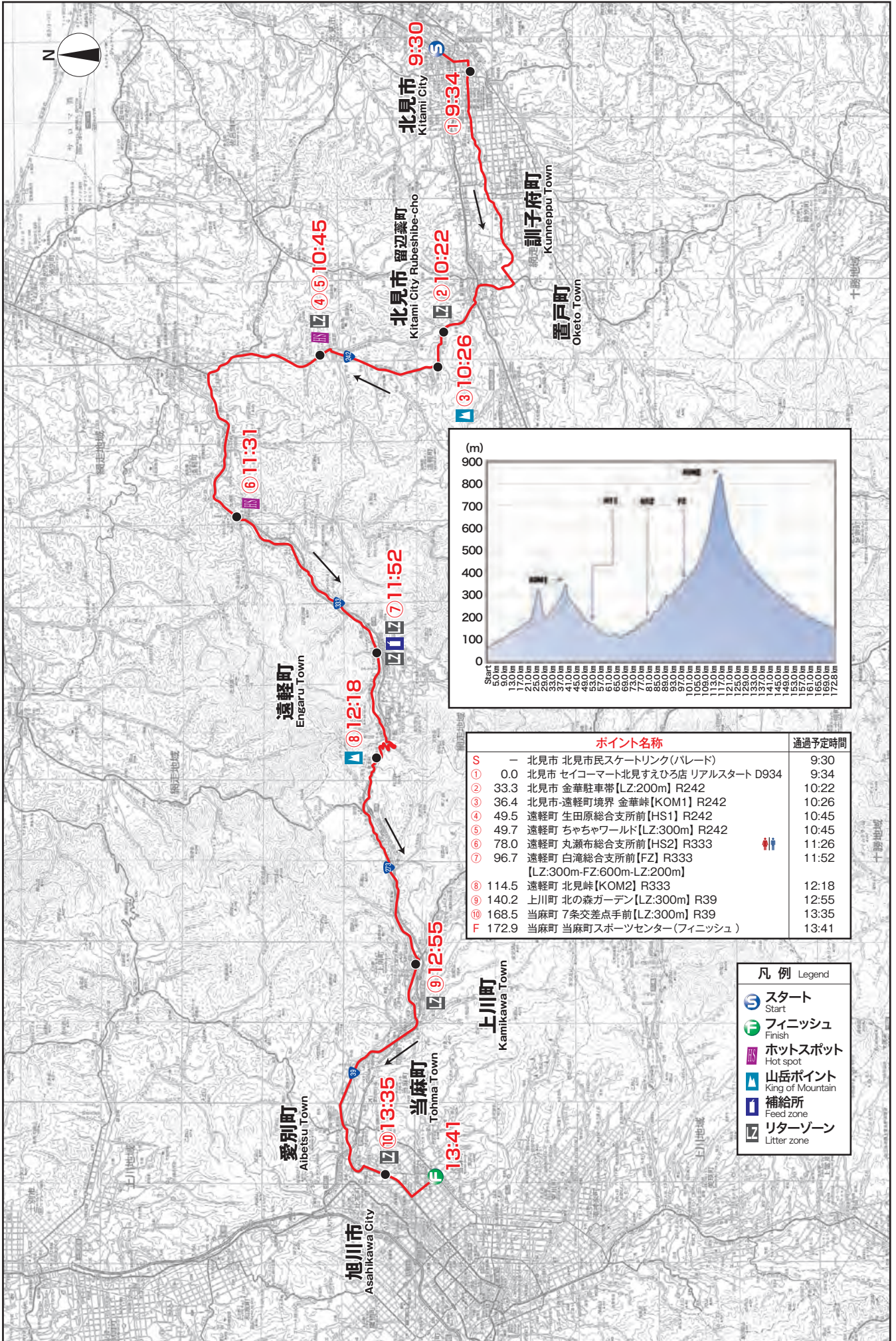
- From Kitami Bus Terminal (Kitami Bus)
… Get off at "Hokko 1-go-sen" 5-min.
- From Memanbetsu Airport (Airport Contact Bus)
… Get off at "Kitami Bus Terminal" 42-min.
From JR Kitami sta. ... 5-min. (3km)
- … From JR Obihiro sta. (thru Doto Expressway) ... 145-min. (147km)
From Memanbetsu Airport ... 40-min. (33km)
- … From JR Sapporo sta. to JR Kitami sta. ... 273-min.
From JR Asahikawa sta. to JR Kitami sta. ... 172-min.

Finish : Tohma Sports Center, Tohma Town

- From 1-jo 8-chome, Asahikawa (Dohoku Bus No.70)
… Get off at "Tohma 1-chome" 45-min.
- From Tohma sta. (Dohoku Bus No.70)
… Get off at "Tohma 1-chome" 3-min.
From JR Asahikawa sta. ... 28-min. (16km)
From JR Kitami sta. ... 160-min. (144km)
- … From JR Sapporo sta. (thru Doo Epressway) ... 120-min. (153km)
From Asahikawa Airport ... 30-min. (22km)
- … From JR Asahikawa sta. to JR Tohma sta. 25-min.
From JR Sapporo sta. to JR Tohma sta. 120-min.

北見市のスケートリンクをスタートし、訓子府から置戸町へと平坦な道を進みます。20km地点ぐらいから徐々に上り基調となり、遠軽町の金華峠で最初の山岳ポイントを競い、遠軽町の生田原と丸瀬布でホットスポットを通過したのち、コースは再度上り基調となり今大会最後の山岳ポイントとなる北見峠を迎えます。北見峠を超すと一気に標高を下げ、隊列はフィニッシュとなる当麻町スポーツセンターを目指します。

Stage 3 starts in front of Citizen Skating Rink in Kitami City. It begins flat in Kunneppu Town and Oketo Town. The route then starts ascending gradually as it reaches first KOM (King of Mountain), Kanehana Pass in Engaru Town. Following two Hot Spots (Intermediate Sprint) of Ikutahara and Maruseppu in Engaru Town, the route climbs up again towards the last KOM of this year, Kitami Pass. Downhill from there serves as an approach to the finish line, Sports Center in Tohma Town.



	ポイント名称	通過予定時間
S	北見市民スケートリンク(パレード)	9:30
①	0.0 北見市 セイコーマート北見すえひろ店 リアルスタート D934	9:34
②	33.3 北見市 金華駐車帯 [LZ:200m] R242	10:22
③	36.4 北見市-遠軽町境界 金華峠 [KOM1] R242	10:26
④	49.5 遠軽町 生田原総合支所前 [HS1] R242	10:45
⑤	49.7 遠軽町 ちゃちゃワールド [LZ:300m] R242	10:45
⑥	78.0 遠軽町 丸瀬布総合支所前 [HS2] R333	11:26
⑦	96.7 遠軽町 白滝総合支所前 [FZ] R333 [LZ:300m-FZ:600m-LZ:200m]	11:52
⑧	114.5 遠軽町 北見峠 [KOM2] R333	12:18
⑨	140.2 上川町 北の森ガーデン [LZ:300m] R39	12:55
⑩	168.5 当麻町 7条交差点手前 [LZ:300m] R39	13:35
F	172.9 当麻町 当麻町スポーツセンター(フィニッシュ)	13:41

凡例 Legend	
	スタート Start
	フィニッシュ Finish
	ホットスポット Hot spot
	山岳ポイント King of Mountain
	補給所 Feed zone
	リターゾーン Litter zone



■北見市 (Kitami City)

北見市は人口およそ11万2千、北海道東部に位置するオホーツク最大の都市です。生産量日本一の玉ねぎや上品な甘さが特徴の白花豆、日本有数の水揚げを誇るホタテや牡蠣など多彩な地域資源や豊かな自然に恵まれています。また、冬季オリンピックでも人気のスポーツ・カーリングが盛んで、2つの通年型カーリングホールがある唯一の自治体であり、カーリングのまちとして知られているほか、スポーツ合宿の誘致活動を積極的に進めており、多くのアスリートが訪れています。

Located in the eastern Hokkaido, Kitami City is the largest city in Okhotsku region with the population of 112,000. The City is blessed with the local resources including onions, white lupine bean, scallops and oysters as well as abundant nature. Known as the city of curling, Kitami is the only municipality that owns two year-round curling halls. As a result of the active promotion, many athletes keep coming for training camp.



■訓子府町 (Kunneppu Town)

訓子府町は北海道東北部のオホーツク斜面の内陸寄りで、周りを山に囲われた北見盆地に位置しています。盆地特有の内陸性気候で日照率が高く、寒暖の差が大きいのが特徴です。町の基幹産業は農業であり、玉ねぎや馬鈴薯、メロンなど多岐にわたります。多くの生産者が減農薬・有機栽培などに取り組み、環境にも配慮した安心安全な農産物の生産に取り組むなど「訓子府農業」を発展させています。

Kunneppu Town is located in Kitami Basin, surrounded by mountains and lying inland of northeastern Hokkaido, Okhotsk area. The town has inland climate with long sunshine duration and significant difference in temperature between day and night. The main industry of the town is agriculture: onions, potatoes, melons and so on. Many farmers are working on environmentally friendly organic cultivation with less fertilizer to promote "Kunneppu agriculture".



■遠軽町 (Engaru Town)

遠軽町は、北海道の北東部、オホーツク地域のほぼ中央に位置する人口約1万8千人のまちです。町の面積は1332.45km²で、その9割近くを森林が占めています。北海道の屋根・大雪山系を源にオホーツク海に注ぐ湧別川が貫流し、森林と清流に恵まれた自然豊かな町です。令和5年6月27日には、本町の「北海道白滝遺跡群出土品」が国宝に指定され、日本最古の国宝となりました。

Lying nearly in the center of Okhotsk region, Engaru Town has population of 18,000. The town is blessed with rich forest covering approximately 90% of the town (1332.45 km²) and freshwater of Yubetsu River flows through the town. Hokkaido Shirataki Excavated Relics designated as National treasure on June 27 this year, became the oldest one in Japan.



■愛別町 (Aibetsu Town)

愛別町は、北海道内有数のきのこの産地です。町内では、5種類のきのこを生産し、様々なきのこの料理が味わえます。また、新鮮なきのこは、香りや食感が格別ですので、ぜひ町内でお買い求めください。また、ツール・ド・北海道2023開催中の9月10日(日)には、愛別町最大のイベントである第37回あいべつ「きのこの里」フェスティバル、令和6年3月3日(日)には、冬のイベントである第40回愛別町雪中ソフトボール大会が開催されます。「きのこの里 愛別町」へ是非一度お越しください。

Aibetsu Town is recognized as the leading mushroom producer in Hokkaido. Five kinds of mushroom produced in Town can be varieties of dishes. You can see the difference when you eat fresh mushroom. In autumn, the Town holds the biggest event of the Town, Kinoko no Sato festival on September 10 during Tour de Hokkaido 2023. As winter event, there is softball tournament in snow in March. Please come to visit "Kinoko no Sato Aibetsu Town"



■比布町 (Pippu Town)

スキーといちごのまち・比布町は、初夏はいちご狩り、冬はスキーを楽しむ観光客で賑わいます。水稲を中心に畑作、施設野菜の生産など農業が盛んで、ブランド米「ゆめぴりか」発祥の地でもあります。豊かな田園風景と大雪山連邦が一望できるビュースポットもあり、「世界一大雪山がきれいに見える」ことも自慢の一つ。かつてテレビCMで有名になったJR比布駅や、縁結びのパワースポットとして知られる比布神社も人気です。

In Pippu Town, as the town of ski and strawberries, you can enjoy picking strawberries in summer and skiing in winter. The Town is also known as the birthplace of brand-name rice, "Yumepirika" thanks to its agricultural surround. There are various tourist spots: the magnificent view including pastoral scenery and Daisetsu mountain range "where you can command the most beautiful Mt. Daisetsu", JR Pippu station known from TV CM, and Pippu Shrine known as spiritual place.

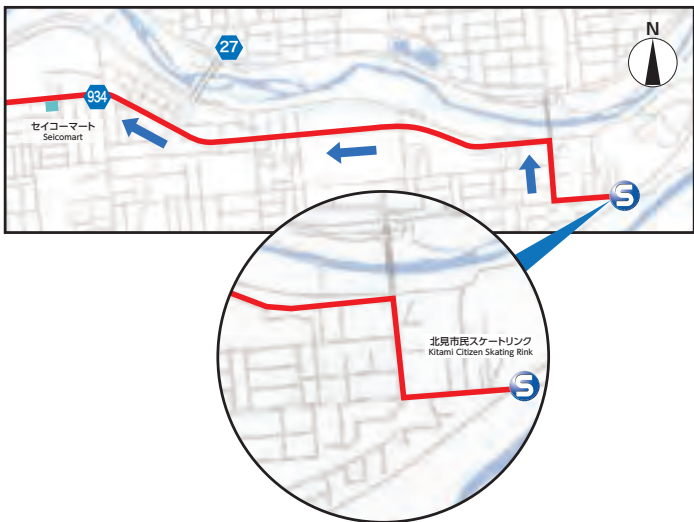


■当麻町 (Tohma Town)

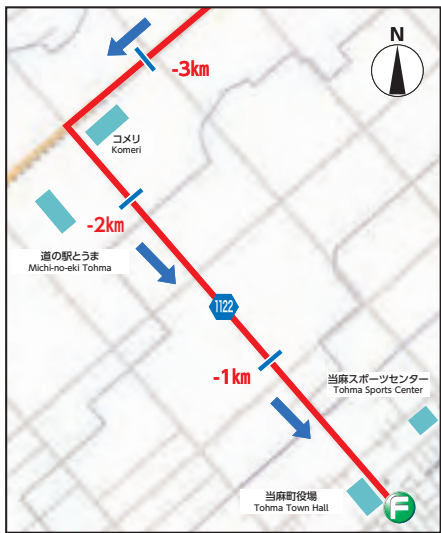
肥沃な大地と森林に恵まれた当麻町は、北海道でも有数の良食味米の産地として知られ、高級スイカ「でんすけすいか」・キュウリ・トマトなどの農産物やバラ・菊などの花卉類は市場から高い評価を受けています。林業においても計画的な森林整備を続け、そこから生まれる木材は、町産材を活用した住宅補助など豊かな暮らしへの一助となっています。自然からいただく命を大切に「食育 木育 花育」のまちづくりを進めています。

Known as one of the best rice-growing areas in Japan, Tohma Town also has lineup of famous local agricultural products (watermelon "Densuke Suika", cucumbers, tomatoes) and flowers (roses and chrysanthemum) with nationwide quality. Forestry plays the important part to provide better life by utilizing the wood as house building material. The Town is working on the town development by using natural resources such as local food, wood and flower.

第3ステージ スタート会場マップ / Stage 3 Start venue Map



第3ステージ フィニッシュ会場マップ / Stage 3 Finish venue Map



チューブレスに迫る、 強さとグリップ力を備えた 新生クリンチャータイヤ。

初代アスピーテ誕生から8年、新アスピーテが満を持して登場。
アスピーテの基軸である
「軽く、強く、トラブル無縁」を継承したモデル[RBCC]、
「軽く、速く、レース性能」を追求したモデル[S-LIGHT]。
チューブレスのパイオニアがリリースした、新生クリンチャータイヤ。

ASPITE PRO will be your answer.

SUPER GRIP! SUPER **TOUGH!**

ASPITE PRO RBCC

アスピーテプロ アルビーシーシー

参考価格 ¥7,480(税込)

SIZE ● WO 700 × 25C / WO 700 × 28C / WO 700 × 30C



SUPER GRIP! SUPER **LIGHT!**

ASPITE PRO S-LIGHT

アスピーテプロ スーパーライト

参考価格 ¥7,480(税込)

SIZE ● WO 700 × 25C / WO 700 × 28C / WO 700 × 30C



コーナーでタイヤを倒す
ほどグリップ力が向上する
新断面構造とヘリンボーン
パターンを採用

タイヤ全面に40×40TPI
メッシュガードを採用(RBCCのみ)

※サイドカットへの抵抗値40%アップ

新断面構造とスリック
パターンで、なめらかな
巡行走行を実現

クリンチャータイヤ初!
フックレスリム対応

新エトルト規格に準拠

	標準リム幅	
タイヤ幅	25C	19mm
	28C	19mm
	30C	21mm





TOUR DE HOKKAIDO 歴代チャンピオン



1987 第1回
高橋 松吉
TAKAHASHI, Matsuyoshi
ナカガワFET オークレー



1988 第2回
橋詰 一也
HASHIZUME, Kazuya
ボスコ



1989 第3回
大石 一夫
OISHI, Kazuo
ボスコ



1990 第4回
今中 大介
IMANAKA, Daisuke
シマノ



1991 第5回
今中 大介
IMANAKA, Daisuke
シマノ



1992 第6回
スプラット スティーブン
SPRATT, Stephen
アイルランド



1993 第7回
今中 大介
IMANAKA, Daisuke
シマノ



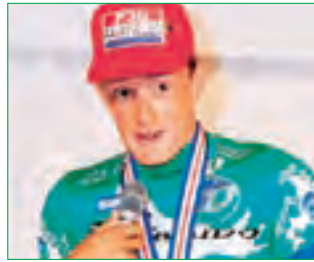
1994 第8回
大野 直志
ONO, Naoshi
チームFET ラバネロ



1995 第9回
グイドッティ アンドレア
GUIDOTTI, Andrea
日本舗道



1996 第10回
ウォルバーグ エリック
WOHLBERG, Eric
カナダ



1997 第11回
コレオーニ ミケーレ
COLLEONI, Michele
アコムラバネロ



1998 第12回
行成 秀人
YUKINARI, Hideto
ミヤタスバル



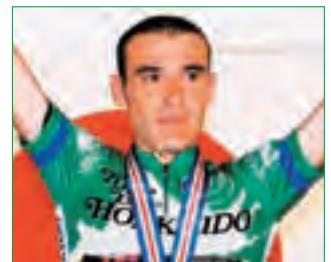
1999 第13回
橋川 健
HASHIKAWA, Ken
ブリヂストン・アンカー



2000 第14回
ウォルバーグ エリック
WOHLBERG, Eric
カナダ



2001 第15回
マッキャン デヴィッド
McCANN, David
アイルランド



2002 第16回
モーリ シモーネ
MORI, Simone
日本舗道



2003 第17回
広瀬 敏
HIROSE, Satoshi
日本舗道



2004 第18回
ワン カンポ
WONG, Kam-po
スミタラバネロ



2005 第19回
ラッティ エディー
RATTI, Eddy
チームNIPPO



2006 第20回
西谷 泰治
NISHITANI, Taiji
愛三工業



2007 第21回
ヴェルネル ヘンリ
 WERNER, Henri
 ドイツ



2008 第22回
宮澤 崇史
 MIYAZAWA, Takashi
 梅丹本舗- GDR



2009 第23回
宮澤 崇史
 MIYAZAWA, Takashi
 梅丹本舗- GDR



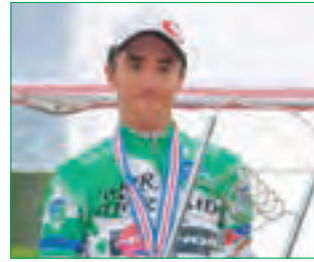
2010 第24回
清水 都貴
 SHIMIZU, Miyataka
 チームブリヂストンアンカー



2011 第25回
ルビアーノチャヴェスミゲール アンジェル
 RUBIANO CHAVEZ, Miguel Angel
 ダンジェロ&アンテヌッチー NIPPO



2012 第26回
リケーゼ マッシミリアーノ
 RICHEZE, Maximiliano
 チーム NIPPO



2013 第27回
ルバトマ
 LEBAS, Thomas
 ブリヂストンアンカーサイクリングチーム



2014 第28回
プリート ジョシュア
 PRETE, Joshua
 チームバジェットフォークリフト



2015 第29回
スタキオティ リカルド
 STACCHIOTTI, Riccardo
 NIPPO- ヴィーニファンティーニ



2016 第30回
増田 成幸
 MASUDA, Nariyuki
 宇都宮ブリッツェン



2017 第31回
ガルシア マルコス
 GARCIA, Marcos
 キナンサイクリングチーム

北海道胆振東部地震
 のため、全日程を中
 止とした。

2018 第32回



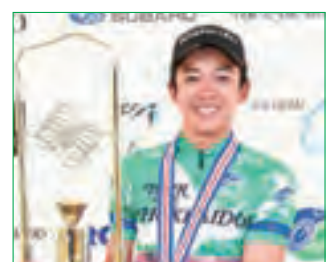
2019 第33回
ザッカントィ フィリッポ
 ZACCANTI, Filippo
 NIPPO- ヴィーニファンティーニ- ファイザネ

新型コロナウイルス
 感染症の影響により
 大会開催中止

2020 第34回

新型コロナウイルス
 感染症の影響により
 大会開催中止

2021 第35回



2022 第36回
門田 祐輔
 KADOTA Yusuke
 EF エデュケーション-NIPPO ディベロップメントチーム

ツール・ド・北海道2023 役員名簿 Officials of Tour de Hokkaido 2023

● 総裁

橋本 聖子 公益財団法人
ツール・ド・北海道協会会長

● President

HASHIMOTO Seiko
President of Tour de Hokkaido
Association

● 大会長

山本 隆幸 公益財団法人
ツール・ド・北海道協会理事長

● Chairman of Tour de Hokkaido

YAMAMOTO Takayuki
Head Director of Tour de Hokkaido
Association

● 名誉総裁

綿貫 民輔 元衆議院議員

● Honory President

WATANUKI Tamisuke
Former member of the House of
Representatives

● 副大会長

中梶 秀則 公益財団法人
日本自転車競技連盟副会長

● Vice Chairmen of Tour de Hokkaido

NAKAKAJI Hidenori
President of Japan Cycling Federation

● 副総裁

鈴木 直道 北海道知事[協会顧問]

● Vice Presidents

SUZUKI Naomichi
Governor of Hokkaido
(Advisor to the Association)

● 大会顧問

柿崎 恒美 国土交通省北海道開発局長

● Counselors for Tour de Hokkaido

KAKIZAKI Tsunemi
Director General, Hokkaido Regional
Development Bureau

秋元 克広 札幌市長[協会顧問]

AKIMOTO Katsuhiko
Mayor of Sapporo
(Advisor to the Association)

岩永 正嗣 経済産業省
北海道経済産業局長

IWANAGA Masashi
Director General, Hokkaido Bureau of
Economy, Trade and Industry

西原 巧 公益財団法人
ツール・ド・北海道協会顧問

NISHIHARA Takumi
Advisor to Tour de Hokkaido Association

眞田 眞 公益財団法人
ツール・ド・北海道協会顧問

SANADA Makoto
Advisor to Tour de Hokkaido Association

大会参与(五十音順)

阿部 芳昭 ABE Yoshiaki	前 株式会社田中組相談役	高橋 秀樹 TAKAHASHI Hideki	南富良野町長
生島 典明 IKUSHIMA Noriaki	公益財団法人北海道スポーツ協会副会長	高松 泰 TAKAMATSU Yasushi	公益財団法人ツール・ド・北海道協会常務理事
池田 明聡 IKEDA Akiyoshi	池田明聡公認会計士事務所公認会計士	滝口 信喜 TAKIGUCHI Nobuyoshi	北海道サイクリング協会会長
伊田 彰 IDA Akira	訓子府町長	竹中 貢 TAKENAKA Mitsugi	上士幌町長
井田 泰蔵 IDA Taizo	国土交通省北海道開発局帯広開発建設部長	田中 栄作 TANAKA Eisaku	一般財団法人日本自転車普及協会専務理事
井出 将哉 IDE Masaya	株式会社NIPPO北海道支店常務執行役員支店長	棚野 孝夫 TANANO Takao	北海道町村会会長(白糠町長)
今津 寛介 IMAZU Hirotsuke	旭川市長	辻 信三 TSUJI Shinzo	医療法人社団 東桑会 札幌北クリニック情報管理顧問
岩下 幸司 IWASHITA Koji	国土交通省北海道開発局旭川開発建設部長	辻 直孝 TSUJI Naotaka	北見市長
小野口 裕朗 ONOGUCHI Hiroaki	公益財団法人日本自転車競技連盟副会長	恒松 浩 TSUNEMATSU Hiroshi	公益財団法人ツール・ド・北海道協会理事
小野 信次 ONO Shinji	音更町長	中田 隆博 NAKATA Takahiro	一般社団法人北海道舗装事業協会会長
角 和浩幸 KAKUWA Hiroyuki	美瑛町長	野崎 清史 NOZAKI Kiyoshi	前 公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会理事長
菊地 伸 KIKUCHI Shin	東川町長	浜田 正利 HAMADA Masatoshi	新得町長
北 猛俊 KITA Taketoshi	富良野市長	原田 裕 HARADA Yutaka	北海道市長会会長(恵庭市長)
草薙 忍 KUSANAGI Shinobu	国土交通省北海道開発局網走開発建設部長	日浅 尚子 HIASA Naoko	前 株式会社 北海道新聞常勤監査役
小磯 修二 KOISO Shuji	一般社団法人 地域研究工房代表理事	深川 正美 FUKAGAWA Masami	置戸町長
小松田 清 KOMATSUDA Kiyoshi	中富良野町長	松川 明弘 MATSUKAWA Akihiro	公益財団法人JKA専務理事
斉藤 繁 SAITO Shigeru	上富良野町長	村椿 哲朗 MURATSUBAKI Tetsuro	当麻町長
坂 敏弘 SAKA Toshihiro	一般社団法人北海道建設業協会副会長	村中 一徳 MURANAKA Kazunori	比布町
佐々木 修一 SASAKI Shuichi	遠軽町長	安江 哲 YASUE Satoshi	佐藤鉄工株式会社顧問
佐藤 芳治 SATO Yoshiji	上川町長	安 祐一 YASU Yuichi	公益財団法人JKA業務執行統括役
渋谷 尚史 SHIBUYA Hisafumi	サッポロビール株式会社北海道本社副代表	矢部 福二郎 YABE Fukujiro	愛別町長
高井 修 TAKAI Osamu	北海道経済連合会副会長	山本 進 YAMAMOTO Susumu	東神楽町長
高木 康弘 TAKAGI Yasuhiro	士幌町長	米沢 則寿 YONEZAWA Norihisa	帯広市長

ツール・ド・北海道2023 実行委員会名簿 Secretaries of the Exective Committee of Tour de Hokkaido 2023

実行委員長 森野 和泰 MORINO Kazuyasu 公益財団法人北海道スポーツ協会副会長
 実行副委員長 穴田 勝彦 ANADA Katsuhiko 公益財団法人日本自転車競技連盟参与
 実行副委員長 高松 泰 TAKAMATSU Yasushi 公益財団法人ツール・ド・北海道協会常務理事

所 属	委 員	幹 事
公益財団法人ツール・ド・北海道協会	常務理事 高松 泰 TAKAMATSU Yasushi	
公益財団法人日本自転車競技連盟	参与 穴田 勝彦 ANADA Katsuhiko	
北海道自転車競技連盟	会長 堀江 洋一郎 HORIE Yoichiro	
北海道自転車軽自動車商業協同組合	理事長 服部 好泰 HATTORI Yoshiyasu	副理事長 春木 直人 HARUKI Naoto
北海道サイクリング協会	理事長 村上 昌美 MURAKAMI Masami	副理事長 風間 貴之 KAZAMA Takayuki
特定非営利活動法人北海道歩くスキー協会	代表理事 丸山 光徳 MARUYAMA Mitsunori	副理事長 古舘 一也 FURUDATE Kazuya
一般財団法人北海道交通安全協会	専務理事 堀内 巖 HORIUCHI Iwao	理事 池内 勝治 IKEUCHI Katsunori
公益財団法人北海道スポーツ協会	副会長 森野 和泰 MORINO Kazuyasu	北海道交通安全推進センター長 大野 富穂 ONO Tomiho
一般社団法人北海道商工会議所連合会	専務理事 高野 瑞洋 TAKANO Mizuhiro	
北海道商工会連合会	専務理事 廣田 恭一 HIROTA Kyoichi	
公益社団法人北海道観光振興機構	専務理事 鳴海 拓史 NARUMI Takushi	
	専務理事 中村 智 NAKAMURA Satoru	
国土交通省 北海道開発局	建設部長 米津 仁司 YONETSU Hitoshi	開発調整課長 空閑 健 KUGA Takeshi
	開発監理部次長 遠藤 達哉 ENDO Tatsuya	開発調整課 開発調整推進官 林 秀樹 HAYASHI Hideki
(旭川開発建設部)		建設行政課長 村越 慶次 MURAKOSHI Keiji
(帯広開発建設部)		河川計画課長 時岡 真治 TOKIOKA Shinji
(網走開発建設部)		道路計画課長 坂 憲浩 SAKA Norihiro
		道路建設課長 村上 睦 MURAKAMI Mutsumi
		道路維持課長 林 華奈子 HAYASHI Kanako
		港湾計画課長 早川 哲也 HAYAKAWA Tetsuya
		次長(総務担当) 前田 宗一郎 MAEDA Soichiro
		次長(河川・道路担当) 河上 誠 KAWAKAMI Makoto
		次長(総務担当) 實重 貴之 SANESHIGE Takayuki
		次長(河川・道路担当) 神山 繁 KAMIYAMA Shigeru
		次長(総務担当) 山口 敬太郎 YAMAGUCHI Keitaro
		次長(河川・道路担当) 福原 英之 FUKUHARA Hideyuki
北海道	スポーツ局長 高見 芳彦 TAKAMI Yoshihiko	観光生活部 スポーツ振興課長 松井 直樹 MATSUI Naoki
(上川総合振興局)		観光生活部 観光振興課長 黒田 健一 KURODA Kenichi
(オホーツク総合振興局)		観光生活部 観光振興課長 相良 修一 SAGARA Shuichi
(十勝総合振興局)		建設部 土木局 道路課長 塩田 雅史 SHIODA Masashi
		副局長 上田 昌宏 UEDA Masahiro
		旭川建設管理部 地域調整課長 高木 広樹 TAKAGI Hiroki
		副局長 山田 浩輝 YAMADA Hiroki
		網走建設管理部 地域調整課長 矢野 眞嗣 YANO Shinji
		副局長 木下 広 KINOSHITA Hiroshi
		帯広建設管理部 地域調整課長 佐々木 昇 SASAKI Noboru
旭川市	観光スポーツ交流部長 菅原 稔 SUGAWARA Minoru	観光スポーツ交流部 スポーツ課長 松田 英志 MATSUDA Eiji
帯広市	スポーツ室長 河瀬 祐二 KAWASE Yuji	スポーツ課長 佐藤 真樹 SATO Masaki
北見市	社会教育部長 塩浜 浩二 SHIOHAMA Koji	スポーツ課長 井上 篤 INOUE Atsushi
富良野市	市民生活部長 山下 俊明 YAMASHITA Toshiaki	市民部コミュニティ推進課長 奥田 俊二 OKUDA Shunji
東神楽町	副町長 鳥毛 昭士 TORIGE Shoji	地域の元気づくり課長 須見 史明 SUMI Fumiaki
当麻町	副町長 遠藤 憲彦 ENDO Norihiko	教育長 中村 欣也 NAKAMURA Kinya
比布町	副町長 作田 恵一 SAKUTA Keiichi	総務企画課長 坂上 幸男 SAKAUE Yukio
愛別町	副町長 金子 公保 KANEKO Hiroyasu	教育次長 森川 儀彦 MORIKAWA Yoshihiko
上川町	副町長 谷 博文 TANI Hirofumi	教育長 館山 孝佳 TATEYAMA Takayoshi
東川町	教育長 杉山 昌次 SUGIYAMA Masaji	生活学習推進課長 今野 裕太 KONNO Yuta
美瑛町	副町長 池田 由行 IKEDA Yoshiyuki	文化スポーツ課長 才川 健一 SAIKAWA Kenichi
上富良野町	教育長 鈴木 真弓 SUZUKI Mayumi	教育振興課長 谷口 裕二 TANIGUCHI Yuji
中富良野町	教育長 鈴木 晶 SUZUKI Akira	教育課長 大野 晃義 ONO Akiyori
南富良野町	副町長 岩 渕 秀一 IWABUCHI Shuichi	総務課長 森 直樹 MORI Naoki
訓子府町	教育長 林 秀貴 HAYASHI Hideki	社会教育課長 高橋 治 TAKAHASHI Osamu
置戸町	教育長 平野 毅 HIRANO Takeshi	社会教育課長 須貝 智晴 SUGAI Tomoharu
遠軽町	教育長 河原 英男 KAWAHARA Hideo	社会教育課長 水野 徹 MIZUNO Toru
音更町	副町長 宮原 達史 MIYAHARA Tatsushi	スポーツ課長 石川 元洋 ISHIKAWA Motohiro
士幌町	副町長 亀野 倫生 KAMENO Michio	地域戦略課長 小野寺 務 ONODERA Tsutomu
上士幌町	副町長 杉原 祐二 SUGIHARA Yuji	生涯学習課長 田中 義朗 TANAKA Yoshiro
新得町	副町長 佐藤 博行 SATO Hiroyuki	産業課長 桂田 聡 KATSURADA Satoshi



RENTAL
OUTLET
REUSE
RECYCLE
OUTFITTER Five "exits".

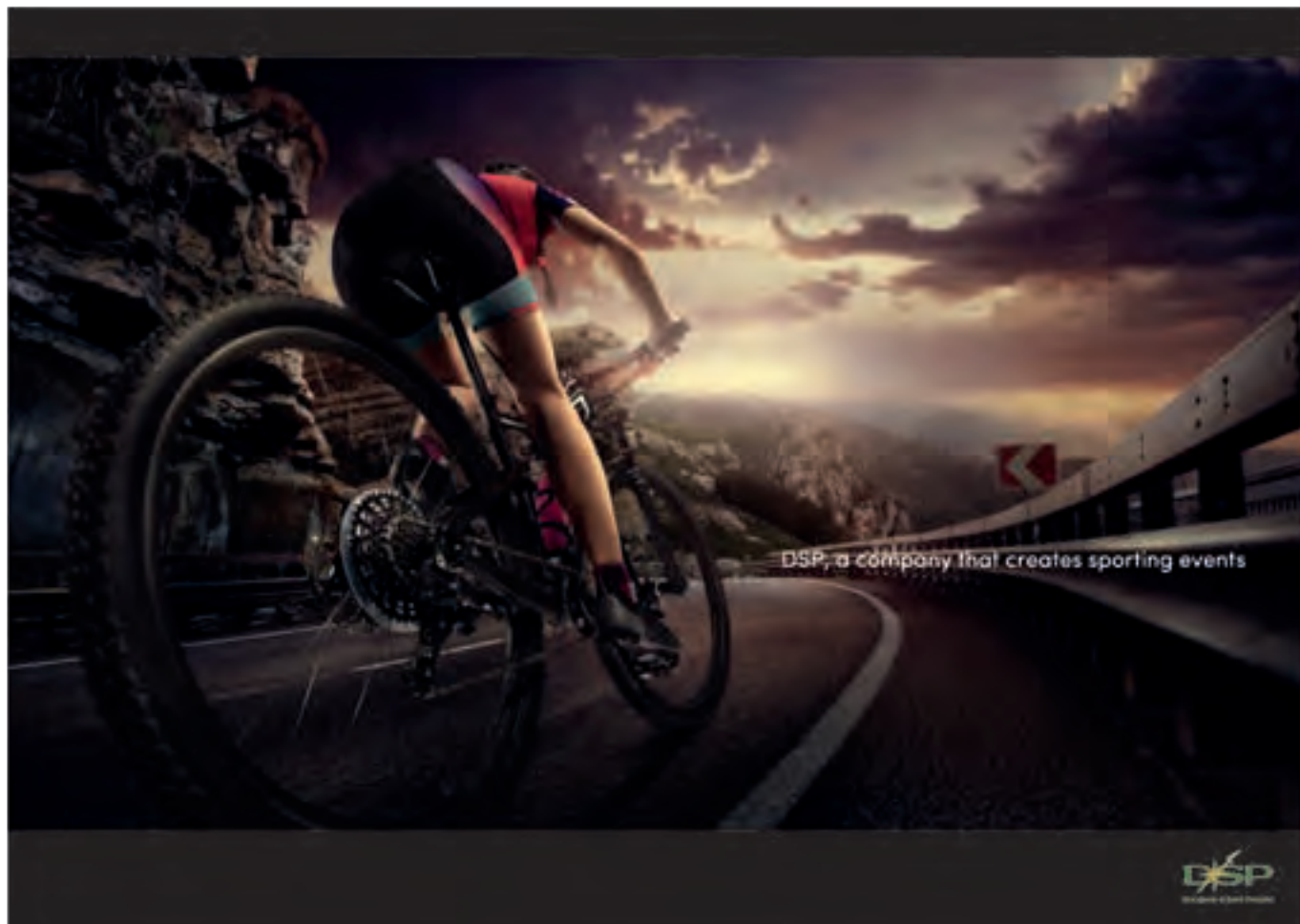
Five "exits".

Each is connected with the others, to provide an exceptional "EX" product "IT".
Come and discover "IT". We provide an exit for its release.
After disposal it becomes free ... there are exits, and there are bypaths, but it won't go far.
Value is there and the Bluebird is right there, too.

retail store

sapporo naebo daisetsu
AYA niseko niseko hirafu

IKEUCHI GROUP
www.igate-ikeuchi.com



DSP, a company that creates sporting events



JTB

感動のそばに、いつも。

株式会社 JTB

北海道事業部

〒060-0001札幌市中央区北1条西6丁目1-27アーバンネット札幌ビル8階
TEL: 011-261-6584

グループ・団体旅行・イベントのご相談お申込みはお近くのJTBへ。

New

THULE



スルーアクスル・クイックリリースの両方のサイクルに対応する
プレミアムフォークマウントサイクルキャリア

Thule TopRide 568 スーリートップライド 568

¥52,800 (消費税込・本体価格)

- 12x100, 12x110, 15x100, 15x110mm のスルーアクスル付きサイクルに対応
- 付属アダプター使用にて 9mm クイックリリース付きサイクルに対応
- 別売アダプター 5681 使用にて 20x110mm のスルーアクスル付きサイクルに対応
- フォーク部をスライド&クリックで確実に固定
- サイクル用ケーブルロック内蔵

Bring your life
thule.com

<ご注意>

※本掲載の商品内容・仕様に関しましては2023年8月現在のものであり、予告なく変更する場合があります。

※本体価格は、希望小売価格(税込)で取付工賃等は含まれません。

※Thule TopRide 568の装着にはTHULEベースキャリアが必要です。取扱店店頭の手種別適応表またはホームページをご確認の上併せてお求めください。

◆ブログ掲載中!◆ http://abeshokai.jp/blog/thule_new/

THULEスーリートップライド568の価格 検索

ABE SHOKAI

スーリー輸入代理店

株式会社 阿部商会

東京都千代田区神田美土代町3番地

TEL 0800-100-4182

www.abeshokai.co.jp

NIPPON
Rent-A-Car

ニッポンレンタカーグループは、お客様にクルマの利用にかかわる
先進的かつ魅力的なサービスを提供し、その利用価値を永続的に高め、
人々の移動に欠かせない事業者として社会に貢献します。

ニッポンレンタカー北海道株式会社

札幌市白石区東札幌1条1丁目1番8号 じょうてつビル1階
TEL 011-805-0010 FAX 011-805-0000

<https://www.nipponrentacar.co.jp/hokkaido/>

～ 私たちはツール・ド・北海道を応援しています ～

ツール・ド・北海道2023 賛助会員等名簿

●法人

一般社団法人網走建設業協会	株式会社北一組	電通設備株式会社	前田道路株式会社 北海道支店
一般財団法人石狩川振興財団	北日本港湾コンサルタント株式会社	東亜道路工業株式会社 北海道支店	丸建道路株式会社 札幌支店
一般社団法人寒地港湾技術研究センター	協和八光建設株式会社	東海建設株式会社	丸駒シビルサービス株式会社
小樽建設協会	草野作工株式会社	道興建設株式会社	丸彦渡辺建設株式会社
札幌自転車競技連盟	栗林建設株式会社	東光舗道株式会社	三井住建道路株式会社 北海道支店
一般社団法人 函館建設業協会	ケイセイマサキ建設株式会社	株式会社東洋実業	宮坂建設工業株式会社
一般社団法人 北海道開発技術センター	光栄建設工業株式会社	道路建設株式会社	宮永建設株式会社
一般社団法人 北海道開発協会	株式会社構研エンジニアリング	道路工業株式会社	株式会社宮原組
一般財団法人 北海道河川財団	株式会社小金澤組	株式会社ドーコン	宮脇土建株式会社
北海道自転車軽自動車商業協同組合	小針土建株式会社	徳井建設工業株式会社	村井建設株式会社
一般社団法人 北海道商工会議所連合会	こぶし建設株式会社	戸田道路株式会社 札幌支店	株式会社盛永組
一般社団法人 北海道測量設計業協会	有限会社サイクル小野サポポロ	飛鳥建設株式会社 札幌支店	株式会社森本商会
一般財団法人 北海道道路管理技術センター	斉藤井出建設株式会社	株式会社ドボク管理	八千代エンジニアリング株式会社 北海道営業所
一般社団法人 北海道土地改良建設協会	坂野建設株式会社	株式会社土木技術コンサルタント	株式会社山内組
一般社団法人 北海道土地改良設計技術協会	株式会社佐々木建設	中道リース株式会社	株式会社山口工業所
公益社団法人 北海道トラック協会	札幌建設運送株式会社	株式会社中山組	山高建設工業株式会社
稚内建設協会	沢田建設株式会社	西江建設株式会社	株式会社山田組
赤川建設興業株式会社	三協建設株式会社	西松建設株式会社 札幌支店	株式会社山伏バコム
阿寒共立土建株式会社	三共電気工業株式会社	株式会社日栄建設	山本電子工業株式会社
秋津道路株式会社	株式会社サン広告社	日成建設株式会社	渡辺建設工業株式会社
旭イノベックス株式会社	白崎建設株式会社	日本工営株式会社 札幌支店	
株式会社アサヒ建設コンサルタント	株式会社シン技術コンサル	日本データサービス株式会社	●個人
あすなろ道路株式会社	新太平洋建設株式会社	日本道路株式会社 北海道支店	阿部 芳昭
荒井建設株式会社	新島工業株式会社	日本ロックス株式会社	伊藤 孝彦
株式会社 安藤・間 札幌支店	新谷建設株式会社	株式会社野田組	伊藤 博
株式会社生駒組	世紀東急工業株式会社 北海道支店	パシフィックコンサルタンツ株式会社	牛島千佳子
勇建設株式会社	株式会社総北海 札幌支社	株式会社橋本川島コーポレーション	梅田 勝
株式会社石山組	大成ロテック株式会社 北海道支社	花本建設株式会社	大島 行司
株式会社伊豆倉組	大地コンサルタント株式会社	パブリックコンサルタント株式会社	大野裕一郎
株式会社磯田組	大同舗道株式会社	東日本富士新道路株式会社	尾埜 森己
株式会社伊藤組	大北土建工業株式会社	日吉建設株式会社	勝見 洋一
伊藤組土建 株式会社	株式会社高組	株式会社廣野組	小塚 耕平
株式会社伊藤工業	高玉建設工業株式会社	不二建設株式会社	古藤 敏之
岩倉建設株式会社	タカハタ建設株式会社	藤原工業株式会社	鈴木 秀之
岩田地崎建設株式会社	株式会社田中組	株式会社不動テトラ 北海道支店	清崎 晶雄
植村建設株式会社	株式会社田中工業	萌州建設株式会社	高松 泰
株式会社エーティック	株式会社谷脇組	北央道路工業株式会社	田下 啓一
ENEOSトレーディング株式会社	株式会社田端本堂カンパニー	北斗徽章株式会社	恒松 浩
株式会社園 建	株式会社玉川組	北土建設株式会社	東岱 庄一
及川産業株式会社	株式会社田宮設計事務所	北都道路株式会社	長澤 直樹
大江建設株式会社	地崎道路株式会社 北海道支店	株式会社北開水工コンサルタント	藤原 盛一
株式会社大林組 札幌支店	中央コンサルタンツ株式会社 札幌支店	株式会社北海道近代設計	三上 優
大林道路株式会社 北海道支店	中大実業株式会社	株式会社北海道新聞社	山本 隆幸
株式会社ガイアート 北海道支店	株式会社長栄通建	北海道道路エンジニアリング株式会社	遊佐 義彦
株式会社開発工営社	株式会社通電技術	北海道ロードメンテナンス株式会社	横道 美則
開発工建株式会社	辻谷建設株式会社	株式会社 ほっきょう	和田 俊博
鹿島道路株式会社 北海道支店	ツバメ工業株式会社	株式会社堀口組	渡辺 総悦
機械開発北旺株式会社	株式会社DSP	堀松建設工業株式会社	
岸本産業株式会社	株式会社ティーネットジャパン北海道支店	幌村建設株式会社	
	鉄建建設株式会社 札幌支店	前田建設工業株式会社 北海道支店	

NEW BRAND! WEDGE TALKIE!

01 **¥↓**
日本特安

02
国内生産

03
防塵防水

WEDGE TALKIE
20-38

WEDGE TALKIE
免許・資格不要

WED-NO-001

7,370円

無料貸出実施中!!

Wedge co.,ltd. お気軽にお問合せ下さい。

ウェッジ株式会社 札幌支店 TEL011-299-1715



有限会社 ガレージ ビーグル

〒061-1103 北広島市虹ヶ丘8丁目2-4
TEL011-375-4451 FAX011-375-4454

新車・中古車販売・一般貨物自動車運送事業・除雪・排雪業務

Natural Mineral Water

京極の名水

日本名水百選

北海道ミネラルウォーター

Secoma

北海道ミネラルウォーター株式会社
〒044-0131 北海道虻田郡京極町字川西40番4

交通規制のあらまし

The outline of the traffic restriction

お問い合わせ

(公財) ツール・ド・北海道協会

☎ 011-222-5922

ツール・ド・北海道2023開催期間中の9月8日(金)から9月10日(日)までの間、国道・道道・市町村道等において、次のとおり交通規制が行われます。皆様のご協力をお願いします。

1. 競技コース周辺道路は、混雑が予想されますので車両で通行する際には十分注意してください。
Please be careful when driving roads around the race course since the congestion is anticipated due to the traffic restriction.
2. 競技車列に順行する車両は、後方を追従して走行できますが、車列の追い越しや割り込みはできませんので注意してください。
During the race, passing or interrupting the race caravan is forbidden; however, driving following the rear of the caravan is permitted.
3. 競技車列に対向する車両は、支障がない限り通行できますが、競技自転車が接近しているときは、減速するなど競技の安全にご協力下さい。その際、右折、横断、転回はできませんので注意してください。
Although driving the oncoming lane is possible, for securing the safety of the race, we ask for your cooperation to slow down when riders are coming close. In this case, right turn, crossing the road and turning around are also forbidden.
4. 競技自転車がトンネルや急カーブ等の道路を走行する場合は、危険防止のため、その手前で対向車両に一時的に停止(停止時間は、最小10分間、最大70分間程度)をお願いすることがあります。
We may ask you to pause in front of the tunnels or on the tight turn, to assure the safety. (Period of time depends on the race situation.)
5. 規制時間は、競技状況等によって変更になる場合がありますのでご了承願います。
Please note that the time schedule is subject to change depending on the race situation.



TOUR DE HOKKAIDO

お問い合わせ先 / For further information
〒060-0005 札幌市中央区北5条西6丁目1番地23 第二道通ビル 5階
Daini Dotsu Bldg. 5F, North 5, West 6, Chuo-ku, Sapporo, 060-0005, Japan
公益財団法人ツールド・北海道協会 / Tour de Hokkaido Association
電話 (011) 222-5922 ファックス (011) 232-4604
Tel+81-11-222-5922 Fax+81-11-232-4604
<https://www.tour-de-hokkaido.or.jp>
E-mail tourde-h@spice.ocn.ne.jp
E-mail tourdech@jasmine.ocn.ne.jp (for English)

UNION CYCLISTE INTERNATIONALE (国際自転車競技連合)
TEL+41-24-468-5811 FAX+41-24-468-5812



ROYCE'

